

茗溪



秋

2022

令和4年

no.1114



目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 令和4年度 地域組織表 …… 03
- 教職2次研修会報告 …… 04 ～ 05
- OB・OG キャリアカフェ報告 …… 06 ～ 07
- 誌上講座「知の提供」(技術者教育と高専) …… 08 ～ 09
- 地域組織の会合に名誉教授を派遣する企画の案内 …… 10 ～ 11
- 寄付金について …… 12
- Peer Garden (茗溪アルバム) …… 13 ～ 17
- 茗溪フェロー協力者ご芳名 …… 18
- 著書紹介 …… 19
- 茗溪・東西南北 …… 20 ～ 22
- 追悼録 …… 22
- 筑波大学は今 …… 23
- 茗溪学園だより …… 24
- 予告 …… 25
- 広報 …… 26
- 編集後記 …… 26



2022年7月9日祝賀会までのひとつの時代の混声合唱プログラム「ひとつの時代」(鈴木一弘氏撮影)



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群
航空・マネジメント学群
教育探求科学群 (2023年4月開設予定)
※設置準備構想中

桜美林学園 理事長・小池 一夫
学長 畑山 浩昭
入学部相談役 川田 孝一 (昭39教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学入学部インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



地域と歩み、次代を創る。

SEKISHO

SEKISHO GROUP

当社は「財団法人関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹

つくば本社 / 茨城県つくば市の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151
茗溪会担当: 取締役 常務執行役員 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<https://www.sekisho.co.jp/>

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。



- 工学部
 - 機械工学科 機械工学コース
 - 機械工学科 航空宇宙学コース
 - 電気電子情報工学科
 - 応用化学科
- 創造工学部
 - 自動車システム開発工学科
 - ロボット・メカトロニクス学科
 - ホームエレクトロニクス開発学科
- 応用バイオ科学部
 - 応用バイオ科学科 応用バイオコース
 - 応用バイオ科学科 生命科学コース
- 情報学部
 - 情報工学科
 - 情報ネットワーク・コミュニケーション学科
 - 情報メディア学科
- 健康医療科学部
 - 看護学科(看護師・保健師養成課程)
 - 管理栄養学科(管理栄養士養成課程)
 - 臨床工学科(臨床工学技士養成課程)

教職センター 大畑多津雄 (S52 理) (神奈川茗溪会会 長)
I R 室 望月 正大 (S51 理) (同 副会長)
公務員対策室 林 忠 (S58第1自)



神奈川工科大学

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:<https://www.kait.jp/>

教職 2 次研修会

茗溪会館・筑波大学マルチメディア教室
・筑波大学平砂管理棟

(P.4～5 参照)



集団討論状況 (マルチメディア教室)



個人面接状況 (平砂管理棟)



個人面接状況 (茗溪会館)

第7回 オンライン OB・OGキャリアカフェ

いろんなセンパイと気軽に話をしてみよう！



日時：2022/7/15（金）17～20時
7/16（土）10～13時



←登壇者公開&予約受付中

主催：一般社団法人 茗溪会
（筑波大学同窓会）
共催：筑波大学 DACセンター



第7回 オンライン OB・OG キャリアカフェ

(P.6～7 参照)



入退マナーは
できているか？

マスク着用での
声量・速度は？

分かりやすいか？
長すぎないか？

<面接官役>
国家資格キャリア
コンサルタントを
有する社会人先輩

<受験生>
・企業・団体
・公務員
・教員
・大学院進学

<場所>
大学会館

対面式の面接練習受付中！

タイムはタイヘン？ まずはタイケンしてみよう！

お問合せ先

一般社団法人 茗溪会 筑波事務所
キャリアアドバイザー事務局
（大学会館内）

電話：029-850-1044

メール：tsu3jimu@meikei.or.jp

詳細は
こちら↓



【参加組織と日程一覧】

ルーム	7月15日（金）	1コマ目	17時～18時30分
A	三菱重工業（メーカー）		清水建設（建設）
B	協同乳業（食品メーカー）		国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所（官公庁・団体）
C	テレビユー福島（マスコミ）		農林水産省 林野庁（国家公務員）
D	野村證券株式会社（金融）		神奈川県立湘南高校（教員）
ルーム	7月15日（金）	2コマ目	18時30分～20時
A	出光興産（石油・エネルギー）		SMK（メーカー）
B	NTTデータ（IT）		NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター（NPO・自然体験教育）
C	コニカミノルタ（メーカー）		正込法律事務所（法曹界）
D	鈴鹿市役所（地方公務員）		関西大学 高等部（教員）
ルーム	7月16日（土）	3コマ目	10時～11時30分
A	アマゾンジャパン（IT・小売）		ビズリーチ（人材・IT）
B	NTTラーニングシステムズ（通信・教育）		Schueco Japan（建築・建設）
C	シマノ（輸送用機器）		静岡県庁（地方公務員）
D	安田女子大学（大学）		フリーランス・広報業
ルーム	7月16日（土）	4コマ目	11時30分～13時
A	三菱マテリアル（非鉄金属）		G.T.WisdomLLC 自立学習塾マイセルフ（教育・塾）
B	Pinterest（IT）		ライトワークス（HR-Tech）
C	損害保険ジャパン（金融）		愛媛県庁（地方公務員）
D	三機工業（建設）		帯広市役所（地方公務員）

令和4年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
筑波大	伊藤純郎 (56筑一人文)	室岡和彦 (01築修教) 山澤学 (11筑博人文)
名誉教授の会	大嶋建一	新井達郎 (56筑博化)
北海道	川口淳 (58筑修教)	尾形友秀 (05筑体) 田畑良樹 (14筑体)
青森	前田济 (59筑一自)	工藤誠司 (09筑体) 五十嵐喜代敬 (09筑体)
岩手	高橋緑 (60筑二人間)	清水茂幸 (59筑体) 上濱龍也 (62筑体) 澤村省逸 (62筑体)
宮城	土生善弘 (62筑体)	山崎健二 (02筑体)
秋田	永井元 (60筑二農林)	戸嶋幸子 (14筑体)
山形	津田浩 (58筑一自)	鳥羽聡 (09筑体) 羽角哲弘 (04筑体) 芦野浩二 (07筑一自)
福島	伊豆幸男 (55筑一自)	渡邊優輔 (21築修教) 大槻文彦 (12築理理工) 渡邊幹男 (17築修教)
茨城	高村祐一 (61筑一人文)	太田泰助 (11築修芸) 竹内智則 (10築修教)
栃木	前橋均 (62筑二比)	今井和彦 (06筑一自) 飯村裕樹 (24築修教)
群馬	小林智宏 (61筑二人) 丸橋覚 (02築修教)	高田博基 (60筑体) 飯塚勇一 (01筑一人文) 木村拓哉 (21築院数理) 鈴木幸英 (26築院数理)
埼玉	春山賢男 (55筑一自)	青木勇藤 (55筑一人文) 大川勝 (59筑体) 山本健敬 (59筑一自)
千葉	百瀬明宏 (55筑一人文)	大久保利宏 (52教大健) 峯浩之 (14筑一自) 田口重紀子 (08筑一自)
東京	高橋基之 (53筑一自)	大根田裕 (54筑一自) 栗原茂夫 (55筑二比文) 浅井一郎 (55筑一人文)
神奈川	加藤充洋 (56筑一社)	大石進 (56筑体) 添野龍雄 (57筑二農) 鈴木孝幸 (09筑博工)
山梨	小林智 (63筑修教)	佐藤朗 (12筑三情報) 井上裕紀 (03筑教)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
長野	志津亨 (61筑一自)	郷原玲 (15筑一人文) 日野瑠里 (25筑人間) 藤原清華 (25筑芸)
新潟	中島郁雄 (53筑体)	山下幸治 (08筑芸)
富山	中村謙作 (62筑一自)	寺崎啓子 (60筑一社) 安村良紀 (18筑三工基) 箱江典子 (23築博数)
石川	田井友章 (59筑体)	神田康 (15筑体) 横野祐太郎 (26筑体) 近岡岳則 (17筑二人間)
福井	牧野保彦 (63筑一自)	田崎忍 (10筑体) 吉川晶子 (63筑芸)
静岡	望月保宏 (61筑一人文)	渡辺洋介 (03筑体) 原崎貴 (17筑一人文)
愛知	竹下裕隆 (56筑一社)	蟹江吉弘 (61筑一人文) 上之園耕司 (61筑体) 恵良孝信 (05筑体)
岐阜	鈴木健 (59筑二生)	蒲尚胤 (02筑一人文) 水野裕子 (01筑二人間)
三重	岡村芳成 (63筑一自)	若宮一哉 (06筑一自) 加藤英紀 (15筑一自) 山北正也 (03筑一人文)
滋賀	脇坂高峰 (56筑体)	藤江隆史 (08筑体) 松林基之 (07筑体) 桂本尚樹 (62筑体)
京都	三橋利彦 (58筑体)	遠山秀史 (61筑一自) 藤原秀規 (04筑体) 奥村典夫 (61築修教)
大阪	松本秀範 (53修農林)	戸井田克己 (59筑二比) 北邨淳 (19筑体) 大橋一郎 (62筑体)
兵庫	若浦直樹 (60筑体)	山田真利 (14筑体) 平野純也 (13筑体)
奈良	谷垣康 (53筑一人文)	井上徳之 (58筑一自) 岩佐泰造 (13筑体) 栗本善弘 (10筑体)
和歌山	川久保尚志 (62筑二生)	川口勝也 (01筑体) 玉出慎 (12筑体) 前了斗 (26築修体)
鳥取	小倉健一 (53筑体)	美多賀真孝 (10筑体) 出雲大輔 (24筑体)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
島根	境英俊 (59筑修体)	西村覚 (01築修体) 塚田真也 (21築博数理) 清水悠 (22筑体)
岡山	長尾隆史 (55筑体)	長尾隆史 (55筑体) 延原良明 (57筑体)
広島	大辻明 (47教大體)	若井研治 (09筑体) 山下勝也 (58筑体) 井藤幹治 (55筑体)
山口	吉本晃 (54筑二人間)	藤本秀夫 (15築修体) 原田正太郎 (27筑体)
徳島	阿部隆 (60筑二農)	池潤茂 (58筑二比) 北條伸吾 (62筑一人文) 田北直樹 (05筑体)
香川	樋谷昌晃 (61筑一自)	飯尾美保 (04筑芸)
愛媛	山下尚位 (59筑芸)	川野正光 (02筑芸) 山本隆祥 (07筑体) 友近拓也 (13筑体)
高知	田頭克文 (57筑体)	手林慎一 (10築博農) 山本英作 (03筑二比) 下坂速人 (53筑体)
福岡	稲富勉 (61筑体)	片山英和 (10筑体)
佐賀	松雪誉 (61筑体)	山田和人 (05筑体)
長崎	山口千樹 (60筑二生)	西平耕治 (05築修芸) 吉村史朗 (12筑一人文)
熊本	大島康裕 (61筑体)	橋本徹也 (12筑体) 伊藤雅之 (13筑体) 渡邊幸樹 (15筑体)
大分	野尻明敬 (59筑二人間)	押田武 (11筑体)
宮崎	川井田和人 (55筑体)	児玉洋一 (02筑三社工) 川内健二 (16筑二比) 森山あゆみ (20筑二資源)
鹿児島	黒木哲二 (62筑二比文)	前和樹 (11筑一人文)
沖縄	前門晃 (58筑博理)	三輪一義 (02築修体) 古堅小百合 (12築修理) 漢那洋子 (63筑一自)

第4回教職2次試験 対策研修会

今年度の教職2次試験対策研修会は、関東1都4県の教職受験を希望する学生・既卒生を主な対象にしており、それぞれの教員採用試験の日に合わせて必要がありました。それぞれの自治体の教員採用試験の願書受付、試験実施日・発表日、2次試験の内容は、次のようにばらばらの状態でした。今年度も1次試験は茨城県だけが他の自治体よりも2週間前倒しでの実施で、他の自治体と重複受験ができるようになっていました。これが、茨城県の教職の倍率にどのように影響しているのか、興味のあるところです。

●募集コソソソ

今年度の教職2次試験対策研修会は次のような要項で募集しました。

●対象

教職を希望する在学生・卒業生・修了生(原則として教職1次試験合格者)筑波大学生とは明記せず、他大学でも受講可能でしたが、今回は他大学からの応募はありませんでした。

●場所と実施日

- 7月31日：茗溪会館(神奈川県、埼玉県)
- 7月31日、8月1日：筑波大学マルチメディア教室(茨城県)
- 8月7日：筑波大学平砂管理棟(千葉県)
- 8月11日：茗溪会館(東京都)

関東1都4県以外の自治体の教員採用試験を受けたい学生・既卒者でも、これら1都4県向けの内容を見て研修会を受けることができます。

自治体	願書受付	1次試験/合格発表	2次試験/合格発表	2次試験の内容
神奈川県	4/21～5/13	7/11(日) 発表7/30(金)	8/9(月)～23(月) 発表10/1(金)	個人面接、模擬授業、小論文(実技検査は8/16～23) *1次試験で小論文作成
東京都	4/11～5/7	7/11(日) 発表8/6(金)	8/20(金)～22.9/12 発表10/22(金)	個人面接、集団面接、一部に実技検査(9/12) *1次試験で小論文作成
千葉県	4/2～5/11	7/11(日) 発表7/30(金)	小学校 8/21(土)～23(月) それ以外 8/16～18 発表10月中旬	個人面接、模擬授業、適性検査 一部に実技検査
埼玉県		7/11(日) 発表7/30(金)	①高校・特別 ②小・中・養護・栄養 8/21、22.9/11～12 発表10/12(火)	①個人面接、集団討論、小論文、適正検査 8/17～23に集団面接 ②個人面接、小論文、適性検査 9/11、12に集団討論
茨城県	4/12～4/30	6/27(日) 発表7/21(水)	8/20(金)～22(日) 発表10/1(金)	個人面接、集団討論、小論文 一部に実技検査、口述試験(英)

●実施コソソソ

今年度も新型コロナウイルスが続いたため、学生への広報が十分に行き渡らず、応募した学生は茨城県受験希望者以外は

数名に留まりました。また、新型コロナウイルスの緊急事態が宣言中であることから日時を変更し、会場をマルチメディア教室、平砂管理棟、茗溪会館で実施しました。

●応募

合計29(のべ27)・・・重複受験2(茨城と東京、茨城と千葉)、欠席3、入会

所 属：学類18、大学院8、卒業(修了)1、他大学0
校 種：小学校7、中学校7、特支1、高校12
教 科：国語1、社会2、数学5、理科3、英語3、小学7、保健体育3

受験地：茨城16、埼玉4、東京3、千葉3、神奈川2

●実施日

7月31日：16名(茨城10、神奈川2、埼玉4)
8月1日：6名(茨城6)
8月7日：3名(千葉3)
8月11日：3名(東京3)

場所は茗溪会館、マルチメディア教室、平砂管理棟で、いずれもコロナ対策を十分にとって実施しました。

●内容

7月31日、8月1日、7日、11日のそれぞれの内容は次のとおりです。7月31日、8月1日は植木先生、佐藤先生、武井先生が、8月7日は百瀬先生(茗溪会理事、千葉支部長)が、8月11日は矢野局長が実施されました。

7月31日(日)	8月1日(月)	8月7日(日)	8月11日(木)
茨城、神奈川、埼玉	茨 城	千 葉	東 京
9:30 受付 9:50 挨拶 10:00 個人面接1(合同)	9:30 受付 9:50 挨拶 10:00 個人面接	9:30 受付 9:50 挨拶 10:00 個人面接1	9:30 受付 9:50 挨拶 10:00 個人面接1
12:00 昼食休憩	12:00 昼食休憩	12:00 昼食休憩	12:00 昼食休憩
13:00 模擬授業(神奈川) 集団討論(茨城、埼玉)	13:00 集団討論 15:00 小論文	13:00 模擬授業 15:00 個人面接2	13:00 個人面接2 15:00 指導案に基づく
15:00 個人面接2(神奈川) 論作文(茨城、埼玉)	16:30 諸注意・諸連絡 17:00 解散	16:30 諸注意・諸連絡 17:00 解散	16:30 諸注意・諸連絡 17:00 解散
16:30 諸注意・諸連絡 17:00 解散			

個人面接(写真1)

個人面接は3人から4人の小グループで、1名が受験者、講師の先生とその他の受講者が面接官となって進行しました。1人5分程度で役割を交替し、



写真 1

全員が受験者をやったところで面接評価表を用いてフィードバックし、メンバーを替えて2セット実施しました。質問事項は、講師の先生から質問項目について説明があり、前もって配布した東京アカデミーの「パーフェクトガイド」にある当該自治体の質問項目を参考にしながら行いました。フィードバックの後、受講生から様々な質問、例えば茨城県の特徴を踏まえた模範的な回答についての話し合いなどがありました。



写真 2

模擬授業（写真2、3）
事前に書いて提出した学習指導案を用いて模擬授業を実施しました。授業者は学習指導案に沿って10分程度で模擬授業を行いました。授業者以外は生徒役となり、事前に配られた評価表に記入して、授業者に授業のよい所、改善する所などをアドバイスしました。最後に講師の先生が全体を講評して1人の模擬授業を終了して次の模擬授業に移りました。



写真 3

集団討論（写真4）

実施者のグループと評価者のグループに分かれ、2つの課題中の1つを選んで実施しました。実施者のグループは選んだ課題について討論し、評価者は各人が前もって配布された評価表にコメントを書き入れて進行了しました。実施した後のフィードバックでは、課題への向き合い方、当事者として発言したか、何が見られているのかなどについて活発な意見交換がありました。



写真 4

論作文

講師の先生による、小論文を作成するポイントの説明があり、与えられた課題について八百一から一千字の論作文を作成し、出来上がったものを事務局員が講師の先生に送り、講師の先生がそれを添削して事務局に返送し、受講生が後日事務局に受取りに来るといいう面倒な手順で行いましたが、受講者からは「添削は本当に必要」の感想がありました。

（報告…茗溪会事務局 大根田 裕）

筑波キャンパスでの キャリア支援レポート

茗溪会筑波事務所

瀧下 芳彦(S56年基礎工卒)

筑波事務所は、筑波キャンパスの中央部にある学生会館内にあり、学生と一番近いところで活動しています。今回、茗溪会が主催した2つのキャリア支援企画「第7回オンラインOB・OGキャリアカフェ」と「対面式の面接練習」についての現場レポートをまとめました。

第7回オンラインOB・OG キャリアカフェ

2022年7月15〜16日開催

●企画概要

筑波大学および大学院の卒業生と現役学生との交流の機会、および大学の先輩から就職活動やキャリア、学生生活のアドバイスなど、本音で話を聞ける機会として、これまで学生から高い満足度を得ています。

主催：一般社団法人 茗溪会 茗溪・筑波産業人倶楽部運営委員会

共催：筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンタ

参加対象学生：筑波大学の全学生、大学院生。学年は不問。
参加対象社会人：筑波大学および大学

院の卒業生。

2019年・第1回目、2回目は、大

学内(学生会館)で実施。

2020〜21年・第3〜6回目は、

コロナ禍でオンラインで

実施。

2022年・第7回目の今回もオンラインで実施。

●今回、特に私が注力したこと

・コロナ禍も3年目に入り、学生が社会人と交流する機会が減ってきていることや、本企画がこれまで学生から高い満足度を得ていることを踏まえ、一人でも多くの学生に参加してもらえようようにこれまで以上に広報活動に力を入れました。共催先である大学就職課とは頻繁に打合せ(事務所間は徒歩10分の近距離)を実施し、広報用のポスターなどを用い、

大学就職課経由の広報(ホームページ、学生向けSメール、掲示板など)および茗溪会経由の広報(ホームページ、過去参加した学生向けメールなど)はこれまでと同様に実施しました。今回はこれに加えて、筑波大

学茗溪会に所属されている役員の先生方(40名)にご協力いただいで、

各先生が指導されている各領域の学生たちに直接に推薦をしていただく

ようにお願いし、さらに学生への周知を図りました。

・開催当日は、今回初めて導入された

ファシリテータ役(7名)の一人として全コマに参加し、各コマに登壇

した2名の卒業生と

複数の参加学生とが

自由で円滑なコミュニ

ケーションが図れる

ような場づくりを

専念しました。特に、

時間後半には質問が

途切れる場面が多々

あり、私自身が普段

よく学生から相談を

受ける内容などにつ

いて私から卒業生に

質問するなどして対

応しました。

●今回の結果

・運営事務局を大塚事務所(茗溪会館)に設置し、筑波事務所(大

学会館)や卒業生、

学生、共催の筑波大

学就職課をつないで

オンラインで実施し

ました。

・卒業生32名と参加実

学生92名(延べ学生285名)が交流し

ました。また、一人の学生が話を聞

いた卒業生は、平均6.2名とこれまで

にない幅広い交流が実現されました。

・学生の参加者満足度は、96.5%(n

56名)、卒業生の参加者満足度は、

100%(n532名)となり、これまで

同様に学生、卒業生共に高い満足度

を得ることができました。

●学生の感想

・働くことやキャリアに関する様々な

観点からの意見を聴くことができ、

大変視野が広がった。

・将来のことで不安に思っていること

を質問でき、進路について改めて深

く考える機会となった。

・もう少し仕事の内容について聞いて

みたかったが、どう質問すればいい

かわからず聞けなかった。

【参加組織と日程一覧】		
コマ	7月15日(金) 1コマ目	17時~18時30分
A	三菱重工業(メーカー)	清水建設(建設)
B	協同乳業(食品メーカー)	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所(官公庁・団体)
C	テレビユー福島(マスコミ)	農林水産省 林野庁(国家公務員)
D	野村證券株式会社(金融)	神奈川県立湘南高校(教員)
コマ	7月15日(金) 2コマ目	18時30分~20時
A	出光興産(石油・エネルギー)	SMK(メーカー)
B	NTTデータ(IT)	NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター(NPO・自然体験教育)
C	コニカミノルタ(メーカー)	正達法律事務所(法曹界)
D	鈴鹿市役所(地方公務員)	関西大学 高等部(教員)
コマ	7月16日(土) 3コマ目	10時~11時30分
A	アマゾンジャパン(IT・小売)	ビズリーチ(人材・IT)
B	NTTラーニングシステムズ(通信・教育)	Schueco Japan(建築・建設)
C	シマノ(輸送用機器)	静岡県庁(地方公務員)
D	安田女子大学(大学)	フリーランス・広報業
コマ	7月16日(土) 4コマ目	11時30分~13時
A	三菱マテリアル(非鉄金属)	G.T.WisdomLLC 自立学習塾マイセルフ(教育・塾)
B	Pinterest(IT)	ライトワークス(HR-Tech)
C	損害保険ジャパン(金融)	愛媛県庁(地方公務員)
D	三機工業(建設)	帯広市役所(地方公務員)

第7回 オンライン OB・OGキャリアカフェ

いろんなセンパイと気軽に話をしてみよう!

筑波大生

学年不問!
・学群生
・大学院生
(修士、博士)

OB・OG

参加者32名
企業、公務員、
教員、起業家、
外国人留学生

日時：2022/7/15(金) 17~20時
7/16(土) 10~13時

QRコード ← 登壇者公開&予約受付中

主催：一般社団法人 茗溪会
(筑波大学同窓会)
共催：筑波大学 DACセンター

第7回OB・OGキャリアカフェポスター

●卒業生の感想

- ファシリテータの方のお力もあり、ラフに学生と話すことができた。
- 将来のキャリアについて前向きな熱意ある学生達と触れ合うことができた。私自身筑波大学での学生生活には恩を感じており、貢献できる機会を頂けて嬉しかった。
- 学生さんやファシリテータの方の質問から、自身のキャリアの棚卸しになった。

対面式の面接練習

実施期間…2022年4月22日～

現在(継続中)

●背景

私が継続して担当(1〜2日/週)している就職課のオンラインキャリア個別相談において、学生から「企業の最終面接が対面で実施された」「初めての対面式の面接が予定されているが、対面での練習に対応してもらえないか?/対面での練習ができる場所がないか?」など対面式の面接に関する相談が今年に入ってから徐々に増えてきました。コロナ禍における採用面接は、これまでオンラインが中心で進められてきましたが、最終面接は対面式で実施するなどハイブリット方式を採用する企業・団体が増えてきています。これに対して長くオンライン環境が中心で進められており、対面での対応機会が少ないのが現実でした。採用面

接が本格化する時期が目の前に近づいていたので、「対面の面接練習ができる場を就職課で作れないか?」と大学側に相談しましたが、当時の感染状況および大学の感染対策方針から「今すぐの実施は難しい」という回答でした。そこで、茗溪会が主催をするという形で、学生に対面式の面接を経験してもらう機会を早急につくることにしました。

●企画概要

主催…一般社団法人 茗溪会 茗溪・筑波産業界倶楽部運営委員会
 参加対象学生…対面式の面接(企業・団体、公務員、教員、大学院進学など)を控えている筑波大学の全学生、大学院生。
 対応者(面接官役)…茗溪会キャリアアドバイザー(国家資格キャリアコンサルタントの有資格者)
 所要時間…40分
 会場…大学会館内会議室

●特に私が留意したこと

- 学生が気軽に利用できるように会場は大学会館内の会議室としました。利用の都度、広めの会議室を借用し、面接会場を模擬したりリアルな対面距離を確保して面接練習を実施しました。これはコロナ感染対策でもあり、マスク着用、手指消毒、室内換気などその他の感染対策にも十分に留意しました。
- 対面での練習は初めて不安を持っている学生が多かったことから、入退

出のマナー、マスク着用での声量、オンラインでは普段見えない首から下の動作や姿勢といった点を中心にチェックを実施し、自信を持って本番を迎えてもらうようなフィードバックを心がけました。

●今回の結果

- これまで(4月22日〜8月31日現在)に33名の学生に個別に対応しました。用途として、前半は企業・団体向け、後半は公務員(国家、地方)向けが中心でした。
- 対応者(面接官役)は、現在17名(私を含む)が登録している茗溪会キャリアアドバイザーとなりましたが、短期間での時間調整の必要性やコロナ感染対策の観点から、結果的に筑波事務所にいる私一人での対応となりました。

参加学生からは、「対面での経験はできないものか」と思っていたので、今回の機会がありがたかったです。「いきなり対面での本番を迎えることになり不安でしたが、今回一通り経験できて安心しました」などの感想や「おかげさまで本番

は落ち着いた対応ができ、無事合格できました!」などの嬉しい報告などをたくさんいただきました。

今後も学生の近いところで、状況に応じた各種の支援活動を実施していきたいと思えます。



対面式の面接練習(背中は筆者)

150
1952

入退会マナーは
できていますか?

分かりやすいか?
長すぎないか?

マスク着用での
声量・速度は?

<受験生>
・企業・団体
・公務員
・教員
・大学院進学

<面接官役>
国家資格キャリア
コンサルタントを
有する社会人先輩

<場所>
大学会館

対面式の面接練習受付中!

タイムはタイヘン? まずはタイケンしてみよう!

お問合せ先
一般社団法人 茗溪会 筑波事務所
キャリアアドバイザー事務局
(大学会館内)
電話: 029-850-1044
メール: tsu3jimu@meikei.or.jp

詳細は
こちら↓

対面式面接練習ポスター

技術者教育と高専

喜多 英治

私は筑波大学に1980年に赴任して35年間勤務した後、高等専門学校(以下、高専)の校長に赴任しました。日本の工業化が最も進んだ頃に設置された高専は、歴史的に工学の果たす役割を十分に果たし人材育成に大きく貢献してきました。現在、第四次産業革命など社会の構造が大きく変化する時代に入り、工学やその実践者としての技術者の役割の変化を考えながら人材養成機関としての高専のこれまでと将来の役割を考えたいと思います。

高専の始まり

高等専門学校(高専)は日本で生まれた高等教育機関で、15歳から5年間の教育を行います。高等学校に相当する教育も含みますが、大学や短大と同じ高等教育機関、いわゆる一条校に属します。このため高専では在校生を生徒とは呼ばず、学生と呼んでいます。高専には、工学を専門とする多くの工業高専と、船舶技術を対象とするいくつかの商船高専があります。国立高専は全国に約50校あり、2004年の法人化により国立高専機構として一つの組織として集約されました。

高専が生まれた背景には、戦後の日

本の復興と急速な工業化があります。産業構造が工業を中心に変化して行くためには、それを担う技術者が多数必要となりました。技術分野での大学卒の技術者は戦前の例に従いエリートとして各企業が自前で教育するのが常で、入社後ある程度の時間を経て現場に配属されるような状態でした。このような事情も加わり、現場で指導的な役割を果たす中堅技術者が足りず、その育成は急務でした。そこで中堅技術者の養成機関として新たな教育機関として、大学より短い教育期間で実践的な人材を養成する高専が誕生したのです。1960年から数年にかけて全国に、ほぼ1県に1校設置されました。開学の理念の一つに地元産業の貢献が挙げられ、地域密着の教育機関となりました。

国立大学の工学部も入学定員の増員で工業化に対応しました。国立大学の工学部は地域を代表する工業都市に立地することが多く、茨城県では日立市が長く工業の中心であったので茨城大学工学部も日立市、静岡大学工学部は浜松に設置され、それぞれの地域に人材を供給してきました。工業高専は第二の工業都市に設定される場合が多く、茨城県では1964年に茨城高専が勝田(現在のひたちなか市)に設置されました。北海道では釧路、旭川、苫小牧、函館に、八戸(青森県)、西に行く豊田(愛知県)、舞鶴(京都府)に設置されていて、その地域の国立大学工学部と、地域と役割を分担していることが分かります。

高専が開設された当初は競争率が10倍を超え、超難関校として学生や保護

者から人気を集めました。優秀な卒業生が企業で活躍して評判となると、また優秀な学生が集まり、高専の評価は高いレベルに定着しました。

高専教育の長所と短所

設置から50年以上経った現在でも社会から高い評価を受けている高専教育の特徴は、A)15歳から始める5年間の専門教育、B)講義と実験実習を効果的に組み合わせた教育、C)地域に根ざした教育活動、などです。当初からのA)教育は変わらず、高校と大学の7年分の教育を5年で効果的に習得できることは大学受験による学習の接続性の欠落を回避できる長所となっています。20年ほど前からは実験・実習に加え、効果的な工学教育に必要とされる、より実践的な問題解決型授業(PBL: Program Based Learning)やアクティブラーニング(AL)も積極的に取り入れられています。技術的な課題においてPBLや実習を経験しているため、課題に対してまず何かやってみようという積極的な態度が身に着きます。

高専は高等学校と異なり文科省の指導要領に従う必要はありませんが、低学年では高等学校の教育範囲を概ねカバーしています。社会人としての教養は不可欠であり、語学能力の向上や専門教育の基礎として重要な役割があります。これにより高専3年から4年の間に、高校からの編入や逆に高専から大学進学が可能になります。実際、毎年数名の編入学生や大学への進学生がいて、流動性が確保されています。また留學生は毎年数名が3年生編入で入

学しています。専門教育を早くから始めると教養教育がおろそかになってしまふのは教育制度だけが原因ではありません。理系が得意な学生が文系科目や語学を後まわしにするのは容易に想像できます。

大学の3年次へ編入した高専生は、「専門科目はよく理解しているが英語がね」という評価をよく受けました。しばらく前は海外とのつながりは希薄に見え、学生も教員も語学学習に力が入らなかつたのでしよう。現在では語学の必要性が産業界から高まり、グローバル教育を通じて学生の語学能力を高めることに努力しています。その結果、語学の重要性を理解した学生が高専で増えていることは事実です。また15歳から専門分野を絞ることによる弊害は、当然起こり得ます。コースから外れた学生にも適切な進路が開けるような配慮が必要になってきます。

高専生の進路

かつて高専の卒業生の進路は、製造業や船舶分野が大部分を占めていました。現在では大企業の研究や開発を担当する研究技術者は大学院修士課程修了者が占めるようになり、高専生の多くが大学編入から大学院を目指すようになりました。高専でも2年間の専攻科を付設して大学卒業と同等の学位を取得できるような制度ができています。この意味では大学卒と同等の知識が短縮して得られる高専教育のメリットがうすれていきます。また高専生の就職は大変な売り手市場で、全国規模の大企業に学生の目が向いてしまいがちです。それでも職業に対する関心や地域の理

解は大学生にはない高さです。地元産業界に職を得て、幹部候補生として将来の地域産業の担い手になる学生も少なからずいます。地元企業からの要望は非常に高いのですが高専はそれに応えられないのが実情です。

高専教育あるいは技術教育の変化、高専の対応

高専が誕生してから現在まで、社会の発展と共に産業構造も大きく変化してきました。このような変化に高専や大学は敏感に対応してきました。IT技術革新に伴う情報教育、グローバル経済の進行による教育のグローバル化などを高専では率先して取り入れてきました。ただこれら多様な要請に一樣に対応するのは困難で、学校単位で得意な分野を選択して取り組むように高専機構が調整しています。例えば、特定の産業が強い地域ではその受け皿としてプログラムが強化されたり、世界的に需要が高くなる情報セキュリティの担い手の養成が強化されています。またグローバル教育に特に力を入れていて、教育現場でのグローバル意識の取り込みとして、実践的な語学教育や英語での講義、海外との交流が盛んに行われています。この面では大学より高専生の方が恵まれていると言えます。海外からの要請に応えるべく高専機構では留学生の受け入れに加え高専教育をシステム化しタイ、メキシコなど数カ国での高専設立に協力しています。他国の高専も含めてロボコンが開催されるのも現実味を帯びてきました。大学に編入した高専生が技術者としての基礎素養を持っていることは、通常の

大学進学者に比べて有利な立場にあります。

技術教育の実践

系統的な工学教育システムとして1990年初頭にアメリカで設立されたワシントンアコードが有名です。技術者教育の質を保証する評価機関であり、日本でも1990年代末に日本技術者教育認定機構（JABEE）が設立されました。企業が雇用する技術者の教育レベルを判断できるように、各技術分野で習得すべき項目と達成目標が規定されています。また技術以外の教養分野にも多くの項目が設定されています。国立高専では専攻科を含めた教育課程で、分野を規定しない融合複合領域でのJABEE認定が多く行われています。世界的規模で採用されているため知名度も高く、加盟校は一定の評価を受けるなど役立っています。しかし教育課程に制約が多く課せられるため、教育組織の個性を發揮できないことがあります。

新しい工学教育の取り組みの例としてCDIOがあります。CDIOとは「Conceive(考え出す)、Design(設計する)、Implement(実装する)、Operate(運用する)」の略であり、工学教育改革のための世界標準として2000年にアメリカとスエーデンの大学によって提唱されました。従来の知識教育に加え、知識を活用して製品やシステム開発ができる実践・スキルのバランスを重視した考え方です。ワシントンアコードとは異なり審査は行わず、世界や地域(アジア)での会議を通じて持続的改善を協議していきます。教育課

程には多くの教育目標(要素)がありますが、具体的な実践方法は組織に任されることが可能です。2020年現在9校の国立高専がCDIOに加盟しています。アジアの新設工科大学にCDIO加盟の動きがあり、優秀な学生の引きつける要素として認識されているようです。

高専の教育はこれらの教育システムの必要事項を大部分で満たしています。高専教育が現代的な工学教育として充分に通用することがこれらの教育システムとの対比で分かります。

エンジニアリングの現代的意味

エンジニアリングという言葉には「技術」という日本語が当てられ、主に科学技術を工業製品の生産に適用、応用する手法を意味しています。この定義に加えて、科学技術を基本として多様な知識と技法を用い、工業製品以外にも人間社会の向上に役立てようという応用分野をエンジニアリングに含める定義があります。この広義の「エンジニアリング」を技術教育に含めれば、技術教育は今までの工学の範疇を超えて幅広い応用の世界が広がり、応用にかかわる学問、教育的基盤を包括することになります。元来、応用の対象や手法には文系理系の境界はありません。高専教育は目的意識を養い、それを実現するハードスキル(講義、実習)とソフトスキル(コミュニケーション能力など)を養成しながら学生の生きる力を強化するには適した教育であり、工業以外の産業においても適用が可能な教育システムと言えます。

終わりに

日本は一時期、世界最高の技術力を持つっていると評価され、またその工業製品は質、量共に世界を圧倒しました。しかし今や様相は一変し、ロボットの出現に代表される第三次産業革命の半ばにして、日本の産業の失速と退却が始まったと言えます。失敗を恐れる日本の社会に起因する弊害は多く、社会の閉塞状態の要因とも考えられます。学校教育では失敗を恐れない・チャレンジする大切さを教え始めていますが、失敗に対する社会的恐怖はまだ払拭されていません。若い世代のチャレンジを許容する、社会全体から変革が求められます。

これからの工学教育の目標は工業の維持発展だけでなく、技術者として40年、50年を生きていくための指針やスキルを学習者が習得する手助けをするものと考えます。不幸な事態が起こらないためにキャリア教育も大切です。技術分野では第四次産業革命が始まり、AIが強力に発展する時代に入ります。大学院進学が当たり前になった現在でも、技術者としての基礎となる目的意識やスキルの習得を実践的に行う高専教育が、時代をたくましく生きていく若者の基盤を形成する教育として役立つと感じています。さらに専門性の高い教育と研究は大学教育の領域です。そこへの接続がよりスムーズになれば、意欲ある若い学生の育成に高専教育が貢献できると考えます。

(筑波大学数理解物質系 特命教授)

「知の提供」.. 地域組織の会合に名誉教授 を派遣する企画の案内

「名誉教授の会」は昭和61年5月に、会員相互の親睦を図るとともに、筑波大学の発展に寄与することを目的として発足しました。現在50名程度の会員が居り、江田前理事長をはじめとして20%程度の会員は茗溪会の会員です。従いまして、情報発信、社会貢献等に関して、両組織の連携は極めて有益であり、昨年春から、「名誉教授の会」は「茗溪会」の連携組織として加入しました。

その共同事業の一つとして「名誉教授の会」の会員を茗溪会及びその地域組織の会合等に講師として派遣する企画「知の提供」があります。名誉教授の先生方は研究と教育の両分野において、世界を相手に長年にわたり遂行してきたお仕事の経験を生かし、退職後も大学の枠を超えて日常生活の中で社会貢献事業を関与しています。現在までに、この企画に賛同して下さった10名の先生方の情報及び抱負を記載しました一覧表を以下で示します。

さて、一昨年から2年以上の新型コロナウイルスが猛威を振るい、出前の講演が出来ませんでしたので、季刊誌「茗溪」に誌上講座を開講し、既に4名の先生が講義を実施しました。しかし、最近、政府の方針にて、国内の移動の制限が無くなりましたので、名誉教授が各支部の会合に出席することが可能

になりましたので、本企画を案内いたしました。
(以上、名誉教授の会会長 大嶋建一)

この企画の実施に際して、申込者(団体)、申し込みの条件等の担当窓口は茗溪会事務局が担当しますので、連絡

して下さい。

(以上、事務局長 矢野正人)

No	氏名・出身	担当学類・大学院/専門分野	講演題目
1	白岩 善博 (山形県)	生物学類・生命環境科学研究科/生物学・植物生理学・藻類生理学・マリンバイオテクノロジー分野	1. 光合成生物による太陽光利用の巧妙なしくみ 2. 地球環境変動と光炭素合成固定の多様性 3. 藻類バイオ燃料の生産と利用 4. 藻類は温度変化魚どう感知するか ー海洋微細藻類がもつ細胞内分子温度計の謎ー 5. 海の中のウイルスパンデミックー藻類とウイルスの巧みな関係ー 6. SDGsでみる海の地球規模課題
2	大嶋 建一 (群馬県)	応用理工学類・数理物質科学研究科/物性物理学・回折結晶学	1. メンデレーエフの周期表から実用物質の機能性を学ぶ 2. 物質は生きている：金属・合金の結晶構造の相の変化は砂糖に融解、セミの羽化期間、病気の潜伏時間、ダムの決壊と類似点がある 3. 日常生活に潜む自然現象 4. 理系・文系の区別、理科（物化生地）の縦割り教育を考える
3	新井 達郎 (埼玉県)	化学類・数理物質科学研究科・教育研究科/物理化学・光化学・光生物学・光医学	1. 光と色と化学 2. 光エネルギーと化学 3. 目の中の光化学反応 4. 光で病気を治療する 5. 生物は光の情報をいかにして受け取り、生かすか 6. 生活と化学
4	白川 友紀 (大阪府)	情報学類/工学システム学類・システム情報 工学研究科/高大連携（大学入試）・サイエンスコミュニケーション	1. 筑波大学で世界最速のスーパーコンピューターがつけられた 2. 筑波大学生がサイエンス・インカレで大活躍
5	守橋 健二 (秋田県)	化学類・数理物質科学研究科/量子化学・物理化学	1. 化学で考える現代の環境問題 2. 空気の成分、オゾン層、地球温暖化、エネルギー問題
6	喜多 英治 (兵庫県)	応用理工学類・数理物質科学研究科/応用物理学・磁気工学・高等応用教育（前職：高専校長）	1. たくましく生きていくための科学技術教育とは 2. これからの基礎教育と応用教育 3. デジタル社会での磁気応用（ICTと輸送機器） 4. 地域振興における高等教育の役目
7	山部紀久夫 (大阪府)	応用理工学類・数理物質科学研究科/半導体・絶縁体材料の信頼性物理	1. デジタル社会を支える超微細半導体デバイス 2. シリコン表面とその表面の極薄絶縁膜の形成 3. 高電圧が印加されたシリコン酸化膜中のマイクロな変化 4. 超純水に浸漬されたシリコン単結晶表面の原子的な変化 5. ナノ構造制御技術開発における感性と想像力とスピード感と説明力の事例紹介
8	田中喜代次 (滋賀県)	体育専門学群・人間総合科学研究科/健康増進学・老年体力学・健幸華齢学・スポーツ医学	1. 健康加齢野ためのスマートライフ 2. スマートダイエット、スマートエクササイズ、スマート脳トレ、スマート服薬
9	真田 久 (東京都)	体育専門学群・国際スポーツ開発学専攻・スポーツ・オリンピック学学位プログラム/オリンピック学・スポーツ史・スポーツと文化	1. オリンピックの魅力と課題 オリンピックの歴史ー古代から現代までー 2. 嘉納治五郎のスポーツ教育
10	村上 正秀 (北海道)	工学システム学類・システム情報工学研究科/航空宇宙工学・低温工学・スポーツ医学	1. 極低温に冷やした望遠鏡による宇宙科学観測の実現

【派遣講師の抱負】

2101 白岩先生・光合成、太陽エ

ネルギー変換と物質生産のメカニズム、海洋微細藻類と大気-海洋炭素循環、藻類バイオ燃料生産による炭素ゼロエミッション、海洋酸性化などの海洋循環問題などを通して、光合成生物が進化の過程で構築した巧妙で驚愕するミクロ生物と地球環境に係るドラマティックイベント二つ

2102 大嶋先生・新機能材料の開

発にはX線・電子線・中性子回折手段による原子・分子レベルでの構造解析が必要である。講演では原子レベルのミクロな構造と実用物質との関連性を判りやすく説明し、科学・技術の力で持続可能な社会の実現について展望したい。また、長年高大連携事業を推進した経験を活かし、未来を担う若者の教育はどうすれば良いかを関係者と対話の機会を持ちたい。

2103 新井先生・化学と切り離し

て生活できないくらいに私たちは、科学に関連するものの恩恵を被っている。化学の関係する事象のいくつかについて紹介したい。例えば、無尽蔵な太陽エネルギーを有効利用できれば、日本の未来に役立つものがある。光エネルギーと化学反応の観点について超高速で起こる光化学反応（一兆分の一秒で起こる）が初期過程である視覚、光合成、光ともの色、発する光の色、光治療などについて紹介する。

2104 白川先生・垂直磁化膜、航

空機の誘導、計算機言語、スーパーコンピュータ、並列処理など工学野研究を広く行ってきました。その後、アドミッションセンターで、自己推薦型の入試を実施するとともに、高大連携の研究を行いました。大学教員は何か一つの専門分野の研究をしているように思われることがおおいようですが、大学委員は好きな研究ができますので、私は何度か専門分野や興味の対象を変えました。退職後は「先導的研究者体験プログラム」という大学1-3先生が好きな研究をするお手伝いをしています。皆様に私の経験を通して、すきな研究をすることの楽しさをお話しできれば幸いです。

2105 守橋先生・高校生程度の化

学の基礎知識を活用して、現代の環境問題を考える。文系、理系を問わず一般人向けの内容である。空気に含まれている濃度の方法について理解し、オゾン層が破壊されている原因や、二酸化炭素がなぜ温暖化の原因になるかを考える。また、現代のエネルギー問題についても検討する。

2106 喜多先生・高等教育は持続

的発展の基礎となる「知」の養成について、重要な「役目を担っています。今後、若者に実現して欲しい社会的課題（例えばSDGs）の解決には技術分野の責任と期待は大きく、学習者にとっても納得のいく科学技術教育が必要とされています。大学と高等専門学校での教育経験をもとに、効果的な科学技術教育の実現、中等教育の接続と分担、地域に根ざ

す教育は実をむすぶのか、学生を自立に導く応用教育などについて紹介します。専門分野の磁気応用から、情報磁気デバイスや輸送機器用パワーエレクトロニクスその制御)の開発の行方などにも紹介したいと思えます。

2107 山部先生・デジタル社会が

加速している現在、大量の電子データを高速に計算処理して、人工知能(AI)やビッグデータ(BD)を使って、コンピュータ計算技術を利用して、人間の処理能力をより高めていこうとする技術の展開が広まっている。電子データ取得やデータ処理を担っているのが半導体集積回路です。原子・分子や電子の挙動の基礎的理解を通して、AIやBDの利用が広がることに貢献したい。

2108 田中先生・欧米では、Qo

L(生活の質、人生の質)を良好に保ったまま生涯を閉じることをSuccessful Agingと言います。この言葉の示す内容をよく考え日本語に訳すと、「健やかに、幸せに、華やかに、歳を重ねる」という表記になり、私が提案している「健幸華齢」の概念と重なります。人生が長くなればなるほど、がん、脳卒中、その他の疾病で投薬や手術などの医学的治療を受ける人が多くなります。手術を含め、日常的に治療を受けながらでも、その病とうまく付きあう術を思い出し、自立した生活を送ることが肝要です。検査値の異常に一喜、一憂するのではなく毎日の生活が充実し、心が満たされながら老い(歳の積み重ね)を愉しんでいたため

の4つの重要な柱を掲げています。

- ①スマートダイエット(賢い食べ方)、
- ②スマートエクササイズ(運動の賢い楽しみ方)、
- ③スマート服薬(賢い食べ方)、
- ④スマート脳トレ(賢い脳トレ)。皆さんが多くの方の「健幸華齢」な人生に資する活動を展開していただくことを切に願っています。

2209 真田先生・オリンピックは

「世界を映す鏡」と言われます。東京2020大会は新型コロナウイルスの影響で一年遅れて開催されました。その間に進んだ社会の分断のエネルギーに影響をうけつつも、世界から集ったアスリートたちのパフォーマンスは連帯や多様性を認め合う大切さを示してくれました。その一方で、大会の規模や在り方など改革を進める必要性も提供しました。北京2022大会では、オリンピック休戦を破る事象が顕著に現れ、国際大会への参加禁止という制裁が課せられました。戦争や疫病から逃れたいとはじめられたのが、古代のオリンピックです。それから2800年が経ち、原点の問題が再び姿を表しました。どのように向き合えば良いのか、嘉納治五郎や歴史に学びたいと思えます。

2210 村上正秀先生・宇宙からや

ってくる赤外線やX線を、極低温に冷やした宇宙機搭載の望遠鏡で捉えて観測を行うことが最先端宇宙科学の一つです。その実現を可能にした技術課題の解決について話します。また、これとは別に、スキージャンプ飛翔を空気力学の観点から計測し解析する研究も行ってきました。

茗溪創基150年 記念基金

◎寄付申込額 24,846,794円 (8,945,000円)

◎寄付申込者 1,084名 (568名)

• 平均寄付額 22,921円 (15,749円)

(2022/7/31現在、枠内は2020/3/25のもの)

7月9日(土)、記念式典を盛会裏に終えることができ、一段落といったところですが、記念事業はまだ続きます。

記念事業実行委員会では、記念誌編纂をはじめとする事業に引き続き取り組んでいます。

事務局では、式典業務から次の作業に移りました。

『茗溪』1111・正月号のご案内させていたただいた通り、これまで(令和4年7月末日)ご寄付をいただいた

方々への礼状と領収書、そして返礼品(扇子)をお送りすることが式典後の最初の仕事となりました。

領収書につきましては、江田前理事長の「額に飾れるような」という指示で、構成や紙質にもこだわりました。近所の印刷業者に助言を頼み、和風の特殊用紙を採用する凝りようです。



そして、お礼の記念品です。記念品につきましては、季刊誌『茗溪』1111・正月号の表紙に掲載させていただきましたところ、「どうしたら手に入れることができるか」「購入したいのだがどうすればよいか」など多くの問い合わせがありました。

すでに回答させていただきましたが、あらためて、説明させていただきます。



●ご寄附された方々への返礼

- (1) 記念品(扇子)は、1口5千円以上のご寄附をされた方に限り、贈呈させていただきます。
- (2) 6口(3万円)以上のご寄附をされた方には、記念品(扇子)の他に、記念誌を贈呈させていただきます。
- (3) 8口(4万円)以上のご寄附をされた方には、記念品(扇子)と記念誌を贈呈させていただきます、さらに茗溪会館の高額寄附者銘板に記名させていただきます。

●寄付について

Q1 寄付はいつまで?

令和6年3月末日までとさせていただきます。

Q2 寄付の申込みは一回きり?

何回でもできます。また、どの時点からでも申し込みたいだけです。事務局は、ご寄付の名寄せ台帳を作成し管理しておりますので、複数回のご寄付でも、毎回のご寄付が一定額でなくても、累積額として登録されますので、ご安心ください。

Q3 寄付の申込の仕方は?

- 申込用紙がご用意されています。
- 事務局にご請求下さい。送付させていただきます。
- 季刊誌『茗溪』送付時に申込み用紙を同封させていただきますので、ご利用ください。
- 茗溪会ホームページからダウンロードできます。

Q4 自分の寄付総額を確認できるの?

最近では、「いくら寄付しているか?」と、ご自身の寄付総額をお問い合わせされる方が多くいらっしゃいます。ご遠慮なく、茗溪会事務局までお問い合わせください。お応えさせていただきます。

Q5 寄付の限度額は?

ご寄付は、5千円1口として8口を目安としておりますが、それ以上のご寄付をされる方も多くいらっしゃいます。

なお、高額寄附者につきましては茗溪会館内に銘板を設置し、すでに多くの方の名入りプレートが掲示されています。



銘板は3枚からなり、1枚105名分が納まります。また、茨城茗溪会、東京茗溪会など団体による高額寄付も見受けられます。ぜひ、ご検討ください。



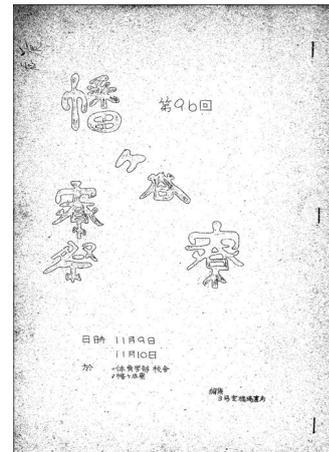
東京教育大学体育学部閉学部記念 (左：表面、右：裏面)
(写真提供、村嶋恒徳氏)

Peer Garden

茗溪アルバム 茗溪創基150年記念事業

茗溪150年の思い出を紡ぎませんか？

東京教育大学幡ヶ谷寮のこと ●寮祭



「第96回幡ヶ谷寮祭」と銘打たれた冊子がある。表紙裏もガリ版刷りで「昭和49年度幡ヶ谷寮祭日程」とあった。

東京教育大学宣揚歌

桐の葉は樹にちぢぬよし、 日の本の教への庭に
秋来なは洗かけ散らん、 いと高さ学び舎ありと
名のみなる残屋を築て、 人も知る茗溪の水
覚めて立て別のるを吾等、 よし酒此よ 徳さんよりは

昭和49年度 幡ヶ谷寮祭日程

11月9日 PM.6:00-9:00	ダンスパーティー (於生協食堂) 素敵なパーティーと素敵な夜を
11月10日 AM.9:00-12:00	運動会 (於 クラウンド) 秋の青空の下、みんな仲よく手に手を取って。…ガンパロウ
AM.12:00-13:00	昼食 (於 剣道場) 無生お子製の太さなおにぎりをはおはって。
PM.1:00-3:00	演芸会：うたの部 (於 会議場) じまんの美声を聴きましょう、 じんなお珍芸がはび出るが。
PM.3:00-4:30	演芸会：フォークダンスの部 (於 会議場) みんなお供にめえって、たのしいおゆうぎさしましよう。
PM.5:00-6:30	ファイアー・ストーム (於 クラウンド) 炎を囲み、青春をうたおう。
PM.7:00-深夜	納会 (於 食堂)

続いて、「寮祭運動会プログラム」が折り込まれ、内容は「カップルを作れ」「ナンバーコール」「ストロー競争」「球送り」「太鼓叩き競争」「椅子取り」「カングルー競争」「豚おい」「お楽しみ」とある。

冊子の後半は、「精霊流し」に始まり、「芸者ワルツ」「人生劇場」を経て「今日の日はさようなら」にいたる全34曲を納めた歌集となっていた。

「ハレ」の日ということもあり、くだけた内容である。寮祭の様子について、村嶋氏に訊いてみた。電話の向こうから、近所の文化服装学院の女生徒が来てくれたことや、食堂に畳を敷き詰めて宴を催したことなどを話してくれた。同じようなことを「幡ヶ谷寮の住人」

勝田茂氏(S34教大健)が『東京教育大学体育学部の歩み』で記録していた。

毎年10月には寮祭が行われ、普段やらないソフトボールなどを皆で楽しんだり、体育学部グラウンド向かいにある文化服装学院女子寮の学生さんと、体育館でフォークダンスを楽しんだりした。そのあと、寮の食堂で宴会が開かれた。テーブルや椅子を片づけ、コンクリートの床の上に、各部屋から畳一枚ずつ持ち寄って敷き詰め、即席の宴会場を作成、時間無制限でとことん飲んだ。」(140頁)

勝田氏が記す寮祭は、村嶋氏より20年前の時代のものであるが、それは綿々と受け継がれてきたようである。ところで、第96回の起点がわからない。「昭和49年度寮祭」となっているのが、年一回の開催とすれば、96年前は明治12年。茗溪創基は明治5年なので、そこを起点としても7年の差がある。戦中戦後の中断があるのかもしれない。

●瓦礫の幡ヶ谷校舎

「第96回幡ヶ谷寮祭」は、全学年が揃った最後の寮祭となった。同年、第14回学部祭が催された。自治会委員長の挨拶文に、「昨年の筑波法案通過以来我々の勉強条件は予想以上に危機に瀕しており、予算が大幅に削減され、各研究室の予算もほぼ半減…」と書かれていた。

高橋和子氏(S50教大健)は、取り壊される幡ヶ谷校舎の様子を記している。

「昭和52年大学院2年の時、教育大閉学の歴史的瞬間に立ち会った。幡ヶ谷での授業は、院生の修論と学部4年の卒論指導のみを残すこととなり、使えない建物が、連日、ドンドンと音を立て埃を巻き上げて壊されていた。オリンピック選手を生んだ体育館が翌日には瓦礫の山と化す。階段教室しかり。そんな辛い思いを味わったのは、学生も教官も同様であった。6年前は学生運動が激しく、両者は対立的であったが、最後の卒業式・修了式では、みんな混ざり合って、全員が円になって肩を組み、宣揚歌を涙ながらに歌ったことを、今でも鮮明に思い出す。」(前掲書160頁)

● 幡ヶ谷キャンパス

東京教育大学は戦後の新制大学の特徴でもある蛸足大学といわれていた。大塚の文教理の3学部に加えて、駒場に農学部、幡ヶ谷に体育学部があった。体育学部のある幡ヶ谷キャンパスは甲州街道や山手通り、小田急線、中野通りに囲まれた渋谷区西原一丁目にあった。その跡地には、渋谷区スポーツセンターが広々とした空間を作り、グラウンドを挟んで東側には渋谷区郵便局、建物の連なる東南にはガールスカウト会館、区立代々木中学校、そして国家公務員宿舎西原住宅がある。京王線幡ヶ谷駅から徒歩10分程度。幡ヶ谷駅前通りを南に下ってすぐの玉川上水旧水路緑道(西原緑道)を横切り、セブンイレブンを目印に歩き、そこで左手に折れて住宅街を行くと、スポーツセンターの屋内プールの建物

に行きつく。

幡ヶ谷寮は渋谷区本町一丁目にあった。幡ヶ谷キャンパスと甲州街道を挟んで線対称の位置にある。幡ヶ谷駅から甲州街道を新宿方向に歩き少し北側に入った所だ。614㎡の敷地、二百坪に満たない狭小敷地に木造二階建て、三人部屋22室、二人部屋が2室で計70名の学生が起居していた。

● 寮生名簿



昭和48年度の寮生名簿である。村嶋恒徳氏が新入生の時の名簿と思われる。

幡ヶ谷寮生の部構成(昭和48年度)

	1学年	2学年	3学年	4学年	計
剣道	8	5	2	2	17
柔道	2	4	2	2	10
体操	3	1	3	5	12
蹴球	4	5	1	1	11
野球	1	1	2	2	6
籠球	3	0	1	2	6
送球	2	0	0	0	2
軟庭	1	0	0	0	1
計	24	16	11	14	65

名簿の表紙裏に寮生の部構成が載っていた。

村嶋氏は剣道部であった。村嶋氏を含めて剣道部の新入生は八名で最も多い。PL学園(2名)、三条高校、安房高校、砺波高校、甲南高校、秋田南高校、そして、熊本高校の村嶋氏など錚々たる面々である。

『茗溪創基150年記念誌』に各地域組織の章がある。「あきた茗溪会」では、小島貞明氏(S32教大農経)が「秋田ゆかりの茗溪人」を寄稿している。小島氏は昭和44年に秋田北高校に異動して5年を経た頃に出会った情景を回想している。

この頃、お会いした忘れ得ぬ三先輩がいる。昭和18年9月、東京高師体育科第三部(剣道)卒の奥山京助、岩谷文雄、吉井忠亮各先輩である。この年の体育科第三部の全卒業生9名中秋田県出身者が3名まで占めていたことに驚く。

川反の居酒屋の止まり木で歓談する奥山・岩谷ご両所から、凜々しい立ち姿の同期伊保清次が在学中に全日本選手権で大活躍したなど往時の懐旧談を伺った。興に乗ったご両所の吟ずる七寮節が今も鮮明に残る。

へ月の七日はお薬師詣りヨイヨイ お薬師詣りにそなたを見初め:

両肘に交互に手を添える所作までも披露された。…とまれ、この三先達を源流とする茗溪剣道の潮流は、伊藤碩士(S40教大)、目黒大作(S43教大)

(健)、渡邊明(S48教大)、加賀谷宗篤(S52教大)、木浪恒二(S58教大)、現支部長の保坂文明(S59筑大体育)、各剣士によって脈々と受け継がれている。

村嶋氏と同期で秋田南高校出身の加賀谷宗篤氏の名も、「脈々と受け継がれて」きた秋田の名剣士に名を連ねていた。

取り残された剣道場の床板は屋根のようにA型に反り上がり波うっていた。それを目にした村嶋氏は、「総勢七十人で毎日踏み込んでいたから、ピーンと板が張り黒光りしていたのだ。そう思うと呆然とした」と回想していたが、加賀谷氏も激しい稽古の日々を送った一人だった。

前号で、村嶋氏は小雨の中、取り壊されている幡ヶ谷寮を見届けにいった時、次のようなことを記していた。

少し斜めになった入口のコンクリートの瓦礫をかき分けながら、午前一時によくストームがあつて正座させられた場所を探った。いつも遅かったからこの辺かなと靴で撫でてやった。

2階建て21部屋に、離れの部屋が3部屋だ。1号室に「集合」の合図があれば、午前何時であろうと5分経たずに整列させられた。

ストームの情景である。

吉崎仁啓氏(S37教大)は、「幡ヶ谷寮の思い出」の中で、ストームについて以下のように綴っていた。

2年生の時一度ストームをかけられ

た。わが9号室の正味6畳のスペースに50人以上がスシ詰めで正座させられて、一時間以上「訓話」を聞く。やっど解散になってもダルマさん状態のひどいしびれで30分以上のた打ち回った。しかしその中でもさすが剣道部員だけは正座の姿勢もピシッと決め微動だにしない。終わった後は何事もなかったようにすくっと立ち上がりさっと部屋に戻ったのには感動さえ覚えたものだ(前掲書14頁)。

●幡ヶ谷寮則

村嶋氏は幡ヶ谷寮最後の寮長である。代々寮長は関係書類を引き継いできた。後に引き継ぐべき書類は村嶋氏の手元に残ったままである。「寮則」もそのひとつである。第一章総則に始まり第十一章補則まで全十八頁にわたる。



第一章総則は、寮の名称に始まり、第二条で、寮生の資格を「主として体育学部」として「主として体育学部の者とする」としている。

勝田茂氏(S34教大健)は「建前は全学の寮であったが、実質は大多数が体育学部の学生であり、他学部の学生は毎学年16-17名の寮生のうち一名だけ

であった」と回想していた。(前掲書139頁)

前号で、村嶋氏が幡ヶ谷寮取り壊しの現場を訪れ、崩された押し入れのベニア壁に筆書きされた住人の氏名を見ている場面があった。

ふと気が付くと、その剥がれかけたベニア板から、もう一枚のベニア板が現れた。不思議に思い剥がしてみた。なんとその下にもう一枚、同じく住人帳なる記名があったのである。そこには国文〇〇、物理〇〇、と記してあった。それがずらりと並んでいた。「えー体育以外の方も入寮していたのか」とびっくりしたことを記憶している」と記していた。

東京教育大学 幡ヶ谷寮則 目次

第一章	総則	(1)
第二章	組織	(2)
第三章	寮生大会	(3)
第四章	寮長会議	(4)
第五章	寮委員会	(7)
第六章	校査	(11)
第七章	財政	(13)
第八章	懲罰	(16)
第九章	懲罰	(17)
第十章	改正	(18)
第十一章	補則	(19)
附則	規約	(19)

第3条、「寮生が相互の信頼と友愛の下に団結し、その自治に於て寮を合理的に運営し健康で文化的な寮風の確

立と相保ち、各寮生の生活をより有意義なものとするを目的」とし、第2章で、寮生大会と寮長会議を置く。寮長会議は寮長と寮委員で構成され、定足数を13室以上の寮長の出席としていた。

第5章は寮委員会を執行部とし、寮長の下に、会計(2名)食堂委員(4名)厚生委員(3名)文化委員(2名)電話委員(2名)の常任委員が業務にあたる。食堂委員と電話委員の日常業務とはなんだろう。

食堂委員は寮食堂を管理し、食堂の会計及び衛生に関する責任を負う。

第32条は「食堂委員の分担管理・指令権」として、食堂を「運営するために必要とされるときには指令を制定する。指令には食堂利用に関する範囲内で罰則を設ける事ができる」と定めていた。寮生活には独特の風習がある。ストームもその一つだし、「賄征伐」という聞きなれないものもある。寮生が、食事や細かい規則への不満から起こした騒動で、日本の明治時代を中心に、旧制高等学校などで広く行われていたようである。

明治16年に東京大学で起こった賄征伐(明治十八年事件)は、146名が退学など重い処分を受けるという深刻な問題へと発展した。

それより4年ほど前の明治12年、司法省法学校に在学中の原敬や陸羯南は賄征伐を起こした仲間の処分に抗議して行動し、放校処分を受けている。

当時の学生寮の食堂は賄業者によって運営されており、食事量や献立の加減で利益を得ていたようである。

例えば、法学校の賄征伐の発端は、日曜日の夕食であった。法学校生の多くは日曜外出が許可され外食して帰寮する。賄方はそれを見越して夕食を加減していたが、納得しない寮生達が賄方に飯のお替りを要求し、食堂内は大騒動となった。



(旧)桐花寮食堂 『写真集東京教育大学百年』116頁所収

さて、幡ヶ谷寮則第56条は、食堂の会計を会計委員から独立させ、「寮規約」は、会計を食堂委員に任せ、赤字額の多少により食事を制限すると追記している。

食堂委員は、昭和の時代でも、ずいぶん神経を遣う役割だったと想像できる。

電話委員も会計委員から独立しており、「寮規約」は、市外通話時は電話委員に即時払いとすると追記していた。

電話機に黒電話、赤電話、青電話、黄色電話、緑電話、そしてピンク電話があったと記憶している。

黒電話は事務や個人使用の固定電話で、現在では形も色も様々となっている。

赤電話は「委託公衆電話」ともいう。電電公社が駅や商店に管理を委託した電話で、平成七年以降は姿を消している。

青電話・黄色電話そして緑電話は、いわゆる「公衆電話」で、青電話は十円玉投入可能（十枚まで）の公衆電話であり、黄色電話は、百円玉が投入可能でプッシュホンが最初に導入された電話となった。しかし、黄色電話は、お釣りが出ないことが問題とはなっていた。それを解決したのがテレホンカードだと思う。

テレホンカードは、電電公社が昭和57年暮れに発行・発売を開始した。テレホンカードが利用可能な公衆電話として登場したのが緑電話で、今では当たり前前の風景となっている。

昭和34年、赤電話、青電話に加えて新しく「特殊簡易公衆電話」制度が施行され、ピンク電話が登場した。この電話機は、一般加入電話を公衆電話としても利用できるようにしたもので、アナログ固定電話回線に料金回収機構を持った電話機を接続するものをいう。飲食店とか寮やアパートに設置されていた。

●寮の電話事情と電話委員

村嶋氏の時代、寮には黒電話とピンク電話があったようだ。電話委員もいた。一年生が担当で、毎日午後5時から午後7時が「電話番」ということで、部活動の練習中でもその役割は優先とされた。

電話を受ける。●●先輩いらっしや

いますか」と寮内を駆け回る。一通り声掛けをして、電話の主不在を告げ、寮入り口ある大きな黒板に伝言を書く。

◇◇先輩 ●時●分

▽▽さんよりお電話です。

二通りの書き方があったらしい。「お電話」は女性から、男性からは「お」をつけない。伝言板に「お」の字があると歓声や冷やかしの声があがったと村嶋氏は回想する。

黒電話は受話器専用で、電話をかけたときはピンク電話を利用していった。

テレホンカードが最も利用されたのは平成初頭であり、その後、若い世代や女子高生に「ピッチ」と愛称されたPHSを経て、スマホの時代に我々がいる。

●地域とのつながり

和紙で綴じられた分厚い台帳がある。



開くと、「昭和33年度送別会」とあり、達筆な文字が躍る。

式阡圓也 まるみや
五百圓也 むさしや
五百圓也 アサヒ薬局
五百圓也 山の湯

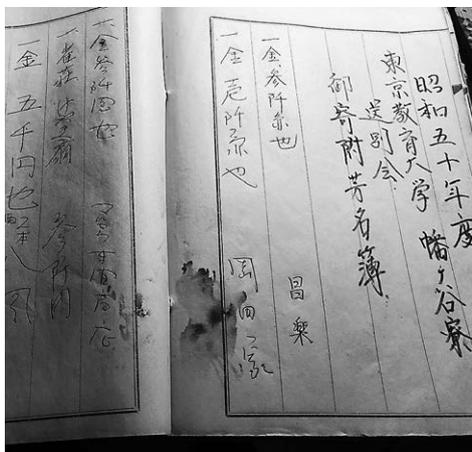


御酒 松本豆腐店

五百圓也

全部で19件、寄付金六千五百円、御酒6本（内ウイスキー1本）であった。

それより18年後の昭和50年の送別会寄付が台帳の最後となっているが、三千円、五千円、一万円の金額が見える。



時代の経過とともに寄付者も変わり、金額も随分違っている。

昭和33年は、大卒初任給一万三千五百円、生ビール一杯六十円（日本テレビALWAYSスペシャル 2005/11/6より）。

昭和33年の寄付金は、現在に換算して、八万円。それに御酒を加えて、十万円程の寄付を頂戴していたことになる。

当時、柔道部で活躍していた野瀬清喜氏（S51教大武）は、「消えゆく東京教育大学の名を優勝校に」の中で、青春の挫折と幡ヶ谷キャンパスの思い出とともに、「稽古後、真つ暗になった幡ヶ谷のグラウンドを全員で20周した」と、試合の日の朝6時に幡ヶ谷商店街の人たちが炊き出しを持って見送ってくれたこと」は、鮮明に記憶に残っていると伝えていた（前掲書16頁）。

幡ヶ谷には、二つの商店街がある。幡ヶ谷駅南口、幡ヶ谷キャンパス方面に「西原商店街」がある。野瀬氏の回想に登場する商店街は、たぶん、西原商店街の方々だと思う。

幡ヶ谷駅北口、幡ヶ谷寮側には、百店舗近くからなる「六号通り商店街」という大きな商店街がある。

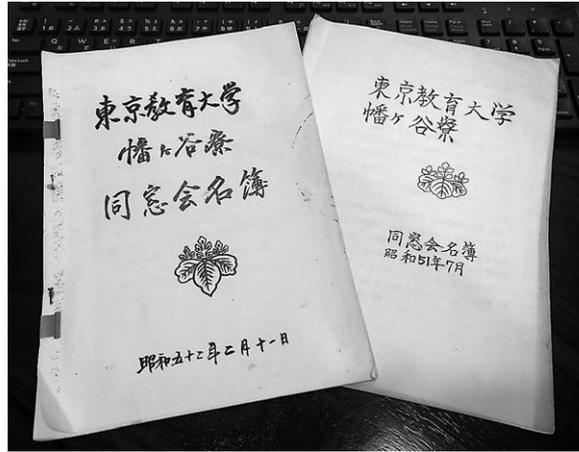
昭和33年から48年の15年間で、商店街もずいぶん様変わりしているが、寄付を頂戴した商店は延べ八十店舗前後を数える。とくに、アサヒ薬局、榮寿司、花田屋酒店、山の湯からは、昭和33年から15年間にわたり寄付を頂いてきた。

昭和48年、半世紀前の話である。山の湯、アサヒ薬局は見当たらない。

榮寿司と花田屋酒店は、幡ヶ谷二丁目界隈に現在もあった。ただ、榮寿司は閉店となっていた。電話をしてみたが出なかった。最近のことである。

●名簿のしり

二冊の名簿がある。昭和51年と翌年の同窓会名簿である。



幡ヶ谷寮の名簿は昭和51年夏に発行された。第1期入寮生(S28)から第25期(S52)までの名簿である。

「初めてのことでしたので、寮の押入れ、壁、天井等に残されている署名、古い名札をもとにして名前を調べ、茗溪会名簿、近隣の寮出身の先輩の御助力によりなんとかここまで作り上げました。」と作業の難航ぶりを述べている。

翌年春先に開催予定の幡ヶ谷寮閉寮式までに「より完全な卒業性名簿を作り、閉寮式の案内を多くの同窓に送り参加を願う、これが名簿作成のねらいであった。」

翌年2月11日に、「第2回目の卒業生名簿」ができた。

第一回目の名簿に掲載された一期生は4名で、しかも住所不明であったが、第二回目になると、24名(内住所不明者4名)となっている。

全体では、第一回目の掲載数は213名、第二回目は275名であった。

「名簿作成に力を注ぎましたのは」と名簿作成の意図を以下のように記す。

「幡ヶ谷寮は今春三月で姿を消すのですが、「これまで、先輩諸兄が築き上げ、受け継がれてきた、伝統ある、また青春の証でもある幡ヶ谷寮、その幡ヶ谷寮魂を、このまま時の流れとしておいてよいものでしょうか。」

そこで、この寮の最後に際して、寮の遺産を忘れないようにするために、また、今後、我々幡ヶ谷寮OBがいろいろな方面で連絡を取り合い、教育大学の名前を、今以上に盛り上げるために、この名簿を作成した次第です。」

最後に、同窓会実行委員として村嶋氏以下、第25期寮生17名が名を連ねた。

徳 治彦 浩男 史也 嗣夫 進篤 忍喜 尚人 幸
恒 直 喜基 博哲 浩一 田 宗 照 公三
嶋 藤 場 田 名 木 島 野 田 原 山 賀 下 山 新 村 岡 畑
村 加 橋 吉 川 鈴 兒 水 浜 川 小 加 山 山 新 村 岡 畑

引用文献

『茗体会百周年記念誌 東京教育大学体育学部の歩み―戦後体育の模索と探求』茗体会百周年記念誌編集委員会、茗体会、平成27年11月15日発行

思い出の品々の寄贈(お願い) 茗溪創基150年記念事業

この度、会員の皆様の「茗溪創基150年記念事業」への参加の一つのあり方として、皆様から茗溪の流れに係る「思い出の品々」を寄贈していただく企画を実施しています。

1. ご寄贈いただく「思い出の品々」について

- ・「思い出の品々」につきましては、その内容の指定や限定はございません。
- ・ご提供頂く場合、品々に「簡単な説明」等を添えていただければ幸いです。

2. 募集期間

- ・茗溪創基150年の年度(2022年度)の終わりまでとさせていただきます。

3. 送り先

- ・画像ファイルの場合は、メールにて(peer@meikei.or.jp)までお送りください。
- ・アルバムなど思い出の品々につきましては、大塚事務所までご送付ください。

4. ご寄贈いただいた「思い出の品々」の活用

- ・ご提供いただいたご寄贈の品々につきましては、『茗溪』Peer Gardenの中で、紹介させていただきます。また、その一部は、『茗溪創基150年記念誌』(仮称)の資料として活用させていただきます場合もございます。
- ・その他の寄贈につきましては、茗溪会活動の中で広く活用させていただきます。

小黒美智子	奥山訓近	岡武志	大西真果	大塚芳郎	大関利久	大島雅夫	大崎公稔	大石和弘	江田昌佑	占部和章	内山久嗣	岩村雅朗	岩村雅明	岩城孝次	井本正子	伊藤恭滋	板本正夫	井田洋一	石塚和美	石川博之	五十嵐耕一	有吉正博	荒木雅信	天笠茂	阿部聖仁	網代伸	浅井康明	浅井康明	青山和義	青山和義	青木道子	相澤鏡夫
重藤辰治	直原幹	佐藤千春	佐藤早苗	佐藤功	佐藤朱美	坂本宏史	阪本孝男	坂田信久	齋藤光政	齋藤隆	小林良一	後藤光将	後藤雅宣	湖口修行	河野文隆	合田浩之	香田裕之	小池一郎	小畔東	倉田健司	日下部公昭	川本太郎	川本太郎	川村泰史	唐津孝	金子清美	加藤純一	加藤純一	柏裕子	小柳克彦	小俣宏記	小内稔
津川守	千輝克忠	田村和浩	田淵英樹	田淵英樹	田邊敦郎	田中守	田中富雄	立山雅博	立石秀樹	立崎英夫	田代淳一	武田伸一	竹内敬昌	高村祐一	高野だいわ	高野だいわ	鷹野誠三	高木まさき	高岡正幸	高井清	瀬藤康夫	関口莊次	瀬木明	鈴木泰全	杉山博信	杉江つま	神保敏弥	莊司隆一	下山田芳子	清水嘉彦	渋谷仁司	篠田邦彦
福田正義	福田省三	福田生一	蛭田政弘	平形精一	比良皓一	原田満彦	原田隆康	原田隆康	原美子	原護	原秀禎	浜竹学	長谷川健一	野々村博	根立俊樹	根市均	奈良昭男	夏目幸一郎	夏目幸一郎	中山芳典	中山芳典	中山貞夫	中村博史	中村伸夫	中島耕士	中澤斉	豊田達雄	豊崎永英	土橋弥生	遠山秀史	寺井正憲	手塚章
(五十音順・敬称略)	渡辺雅仁	渡部徹	渡邊圭一郎	若林一民	六嘉順子	吉田由治	吉田正之	吉尾健太郎	吉尾健太郎	山本主税	山本章雄	山崎哲彦	山口松太郎	山口松太郎	山内研二	百瀬明宏	本木幹雄	望月眞	宮下弘子	嶺田拓也	溝口繁美	溝口繁美	水谷義郎	水上和夫	松田和典	松澤宏明	堀川恭子	堀川勝史	藤原一宏	藤本昌男	藤田弘美	

『茗溪フェロー』ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、会費完納会員を対象として創設された「茗溪フェロー」は、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円/年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。
会員番号は必ず記入してください。
(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)
クレジットカードでのお支払いもできます。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。



新版『美しい元素』

あらゆる物質の「基本要素」がよくわかる

著 者…大嶋建一（筑波大学名誉教授）
 本の大きさ…A5判 全144頁
 発行 所…(株)学研プラス
 発行年月日…2018年4月5日（第6版）
 美しい元素をさがす旅にでかけよう！

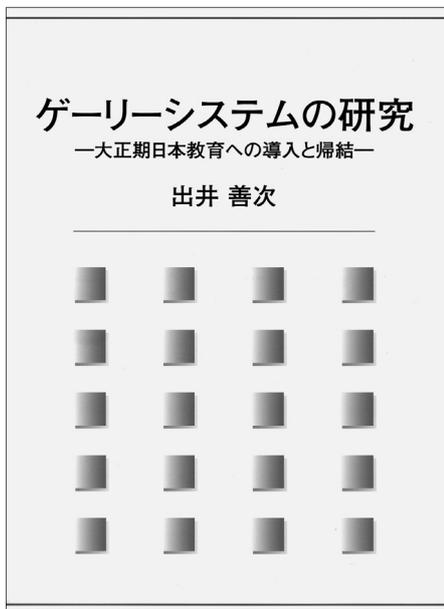
わたしたちの体、地球という大地、そして空の奥に広がる宇宙の星々でさえも、すべては限られた数の元素から成り立っています。宇宙の誕生とともに「水素」や「ヘリウム」が生まれると、やがて星々の中から「酸素」や「鉄」といった、人体を構成する基本的な元素ができあがりました。人間は、いや世界そのものが、こうした星のかけらでできているのです。本書は、そんな星のかけらを探しながら、美しい写真とともに元素の基本を紹介する入門書です。「まえがき」から

『ゲリーシステムの研究』

大正期日本教育への導入と帰結

著 者…出井 善次（49年教大農・51年教修農）
 本の大きさ…A5判 全344頁
 発行 所…(株)ブイツーソリューション
 発行年月日…2020年7月20日

著者は、約39年間私学教師として勤務し、定年退職後、放送大学大学院で教育の振り返りとともに修士論文を提出した。本著はその論文を加筆訂正したものである。ゲリーシステムとは、学校教育において児童・生徒を二群に分けて、一方が教室で教科を学習する間、他方は運動場等で遊戯（運動）や特別授業を行って教室の利用率をあげる教育方法である。創案者ウィリアム・ワートによって米国インディアナ州ゲリー市で1980年から行われていた。大正期、生徒数の急激な増加に伴う学校施設不足、高学歴を求めた「中学校」受験者激増、そして既設「中学校」での入学難、かつてアメリカ産業発達での技術教育の役割等々が注目され、文部省は1921年4月にこのシステムを導入した。（著者）

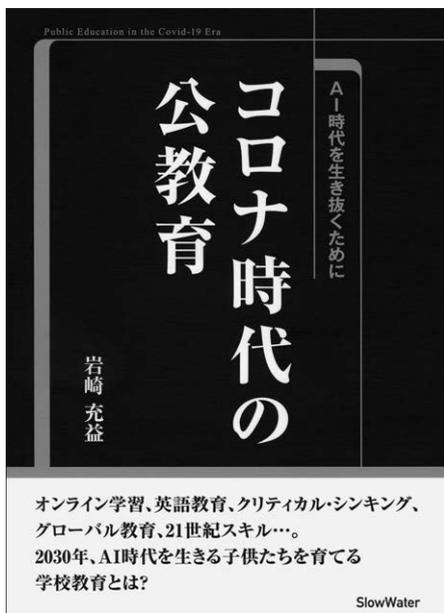


『コロナ時代の公教育』

AI時代を生き抜くために

著 者…岩崎 充益（45教大農別）
 本の大きさ…四六判 全210頁
 発行 所…スローウォーター
 発行年月日…2020年11月16日

コロナ危機に伴い、従来の価値観では物事の判断ができない時代が来るでしょう。教育の分野においても例外ではありません。コロナ危機によって、教育の在り方を見直すチャンスが到来しました。これからの学校教育は、今までの「逆」を行く必要があります。学校の形態が大きく変わる時です。発想の転換が必要となるのです。（本文より）
 長年にわたり高校で教鞭をとり、数々の都立高校校長を歴任。現在、東京都教育庁指導部で教育現場の指導に当たる著者が、コロナ危機に直面する学校・保護者・児童生徒の現状をリアルに伝えるとともに、混乱の中で浮き彫りにされた日本の公教育における問題点や課題を整理。21世紀のAI時代における公教育のあり方を提言する。（著者）



令和4年度
神奈川茗溪会総会

いよいよ茗荷谷を知らない
筑波世代の会長が誕生

7月23日(土)横浜中華街にあるローズホテル横浜にて、総会及び懇親会が開催されました。対面での開催は、実に3年ぶりです。今年は「どうしても対面」という大畑多津雄(S52教大数)会長の方針に沿い、スタッフはウイズコロナでも開催できる形を模索しました。長年会場として使わせていただいている横浜中華街ローズホテルさんにも大いに協力をお願いし、アクリルボードを多用したり席を開けたり等、できる限りの策を尽くして臨みました。そんな中、当日は、茗溪会本部から川田孝一副理事長(S39教大総農)、矢野正人常務理事(S53教修農経)、廣田則夫理事(S53筑大一社)、花上事務局長(S54筑大数)、なんと4人もの参加を頂きました。



受付風景

総会は山田和彦神奈川茗溪会副会長(S53教大農)の議長の下、協議事項、報告事項共に円滑に進められました。特筆すべきは、大畑会長退任に伴い、加藤充洋新会長(S56筑一社)が誕生したことです。茗荷谷には入試と発表の2度だけしか縁がなかったという筑波世代の会長にバトンが渡されることになりました。

「浅いつながらり」ゆえにこそ
大切な縁を大切にしたい
血では無く(茗溪の)水の大切さ

加藤新会長から新年度からの基本的な方針が発表されました。①茗溪会本部との連携を密にする。②抱えている課題は本部茗溪会も神奈川も同じであり、協働して組織の活性化に寄与するよう努める。③教職中心の組織から多様な卒業生の組織へとソフトランディングする、の2点でした。

会長の挨拶のキーワードは「浅いつながらり」でした。これは新進の哲学者である東浩紀氏の造語だそうです。「浅いつながらり」こそ新しい時代に大事なしなくてはならない。神奈川茗溪会は正にそれだとの主張でした。(今日は)

SNSで自由に繋がれそうに見えますが、所詮は自分の範疇からの繋がりが作ることが出来ない。だからこそ「浅いつながらり」によって「新たに自分を広げることが重要なのである。」

確かに、当窓会は同じ大学に居たとしても名前も年齢も就職先も知らなかった同士が、神奈川に勤めたり住んだりという、たまたまの縁で集まる組織です。特に神奈川県は全国から多く

の人が集まっている特殊性があります。筑波大学となつてからは教職中心が急速に薄れ、多種多様な人々が、茗溪出身という一点で、よい大人の歳になつて仲間として初めて繋がる、というのは素敵なことです。

「血は水よりも濃し」という言葉はありますが、私達は「茗溪の水」による「浅い」がゆえにこれらから大事になる繋がりにあるとの会長挨拶は、まさしく筑波の時代を象徴する内容でした。

ちなみに新会長は、第一学群社会学類・筑波大ラグビー部と児童文学研究会に所属されていました。

畔柳秀勝弁護士(H4筑二人間)による「犯罪被害者支援」の講演



講演される畔柳氏

総会後に講演が行われました。犯罪被害者の弁護において、なんと弁護士が検察側に座することも出来ることのお話し、には「知らなかったことばかりで、聞いて良かった」「とても勉強になった」等の声が聞かれました。氏は順を追って①被害者のための施策、②捜査段階における支援、③公判段階の支援、④被害者参加制度、⑤損害賠償命令制度、⑥被害者に対する経済的支援と、分かりやすく説明され、大変好評でした。人間学類から弁護士という職歴も個性的ですが、心理を学ばれたが故にこそこの分野になくはなら

ない人材であるとの印象を持ちました。顔を合わせたの懇親会はやっぱり嬉しい
シメは「茗溪の水」繋がりの証・
「宣揚歌」

久々のリアル懇親会、いつもなら、円卓を囲み本格中華を味わうところですが、コロナ対策のため、アクリル板で仕切られ、料理も小分けされ各自の前に運ばれる方式が取られました。それでも、出席者からは「久しぶりに会えて良かった」「やっぱり顔を合わせて話すことはいいね」「外でお酒を飲むなんて何カ月ぶりかな」などと、笑顔が溢れる会になりました。

記念撮影後は、宣揚歌「桐の葉」斉唱、今回は、全員で肩を組んで唄うことは許されず、学生服姿の大石進氏(S56筑体)による指揮で、斉唱では無く、初参加の野中祥敬氏(S39教大農工)が1・2番を、筑波混声合唱団出身の市川道伸氏(S58筑一人文)が3・4番を、代表として独唱しました。(小さい声で誰もが小さく口を動かされていたようです)参加者の気持ちは大いに盛り上がりました。出席者は37名と例年より少なめでしたが、今回対面で実施できたことが何より嬉しいことでした。

令和4年度愛媛茗溪会 茗溪文化講演会および 総会報告

日時…令和4年8月7日(日)13時
場所…道後にぎたつ会館

出席者…24名(県内参加者22名、茗溪会矢野正人常務理事、茗溪会廣田則夫理事)

内容…①茗溪文化講演会
演題…地方大学における課題解決人材の育成
—文化資源マネジメント実践を事例に—

講師…井口 梓(愛媛大学社会共創学部副学部長) H20筑波大学院生命環境科学研究科地球環境科学専攻修了(博士)
②愛媛茗溪会総会
③役員会および井口先生の座談会

3年ぶりの愛媛茗溪会総会の開催に向けて

去る8月7日に愛媛茗溪会茗溪文化講演会および総会が、道後にぎたつ会館で開催されました。残念ながら、毎年恒例の総会後の懇親会は今年も見送ることとなりましたが、茗溪文化講演会および愛媛茗溪会総会は、実に3年ぶりの開催となりました。今思い返せば、4月当初、「今年はどんな形でもいいので何とか開催しましょう」と山下会長と電話で話したことを、鮮明に覚

えています。

講演会の講師の選出は、山下会長の紹介で、今の時代に一番の適任者というところで、愛媛大学社会共創学部の井口 梓先生にお願いすることとなり、早速連絡を取りました。大変お忙しい先生であるのは重々承知の上での講演依頼でした。しかし、返事はOK。この上ない喜びでした。これは、感染対策をしながら必ず実施しないとイケないなと思いました。即、山下会長に電話をしたのを覚えています。

地方大学の地域系学の役割 井口先生の講演より

現在日本の人口が減少するとともに、地域の課題は今や日本全体の一般的な社会問題であり、縮小する地域の問題は、今後避けては通れない状況となっています。集落の生活の質(地域の在り方は地域の知識や経験にあるという考え方)の継承、地域の資源管理(何を残して何を残さないという、その地域に寄り添った適切な在り方を考える必要性)の探求など、これまでの地域課題探しばかりに偏らず、総合的に地域を考えるとといった、未来志向型へ考えを変えていかないとけません。また、現実として、集落の生活の質を維持することができた集落もあれば、すでに無住化集落となり、再建が困難な集落も多く存在し、むらおさめに向かって集落も少なくありません。井口先生の講演は、今の日本の現実を目の当たりにした内容でありました。我々大人は、未来ある子供たちのため

に何ができるのか、そう問われているような印象を受けました。



講演をされる井口先生

新役員の紹介

- 会長…山下尚位
- S 59 芸術専門学群卒
- 事務局長…川野光正
- H 2 体育専門学群卒
- 庶務…山本隆祥
- H 7 体育専門学群卒
- 会 計…友近拓也
- H 13 体育専門学群卒

本年度は、茗溪会本部より矢野正人常務理事、廣田則夫理事の2名にご来県いただき、現在の茗溪会の状況、茗溪会の今後等について、お話いただきました。愛媛のような地方での茗溪会において、このように本部からご来県はまたとない機会であり、改めて愛媛

のような地方でも同窓生を大切に、こういった総会を毎年開催していかなければならぬと思った次第です。廣田理事からは、一般企業の方の紹介を積極的に進めていただきたいというご意見をいただき、愛媛としても教員に偏りがちの集まりを、少しでも一般企業の方が参加できるように、進めていきたいと考えています。まだ具体的なことは決定していませんが、一人一人が情報収集しながら、一般の方の参加がしやすいように努めていくしかないと思っています。また、本部からの還元金もこれまでの愛媛の本部会費納入者数に加えて、愛媛茗溪会が扱った本部会費納入分も還元されますので、その実質増額分も上手に使えないかと模索しているところでです。



愛媛茗溪会山下会長

役員会および井口先生の座談会の開催

内容…愛媛茗溪会の課題について
・ 一般企業の方の参加がない。
・ 若年層の方の参加がない。
総会后、別室にて、役員会および井口先生の座談会を実施しました。

追悼録（敬称略）

逝去会員氏名・卒年科・地域・
逝去年月日・続き柄・遺族氏名

安部 一郎	19体二	東京	R4. 2.27	長女	田中 博子	安田 修一	31院修東史	東京	R4. 6.17	長男 妻	安田みどり
福島 正義	23大国土	埼玉	R4. 6.24	長女	福島 薫	長本 清	32教大心	東京	R4. 5. 8	妻	長本 芳江
榎永 勝	23体専	東京	R3.12.25	妻	榎永百合子	佐藤 三郎	33院修教	茨城	R4. 5.23	妻	佐藤 晴美
八木澤 亮	23理二	神奈川	R4. 8.10	次男	八木澤 眞	藤根喜美子	33教大絵	奈良	R3. 3. 8	長男	藤根 正樹
中本 次雄	24研	石川	R4. 8.21	兄	中本 勇	駒木 悠二	34院修数	東京	R4. 1.28	長男	駒木 文保
小松 喬生	24理一	東京	R4. 6.24	長女	富山美知子	斎藤 光司	34教大日史	長野	R4. 6.23	妻	斎藤 恵子
長谷川肇志	25理一	埼玉	R3.12.31	長男	長谷川彰彦	鈴木 周明	35教大英	愛知	R4. 1.25	長男	鈴木 基史
岩田 敏	25理三	埼玉	R4. 5.16	長男	岩田 卓	鈴木 國夫	37教大健	千葉	R4. 7.15	妻	鈴木 順子
渡邊 榮一	27文四	神奈川	R4. 8.17	長女	田坂美砂子	平田 辰郎	38教大林	千葉	R4. 8.11	妻	平田 桂子
坂本 雄一	27理一	東京	R4. 7.21	妻	坂本 季子	浅川 文彦	40教大総農	静岡	R4. 8.27	妻	浅川 令子
檜山 克美	29教大健	茨城	R4. 8. 6	三男	檜山 直樹	桜井 康雄	40教大物	東京	R4. 5.20	妻	桜井 道子
堀川作太郎	29教大構成	埼玉	R4. 5.12	妻	堀川 勝子	河岸 博子	49教大体	宮城	R4. 9.10	夫	河岸 敏郎
山内 公雄	30教大健	静岡	R4. 7.15	次男	山内 渉	大嶋 善孝	52教大史論	静岡	R3.12.10	妻	大嶋久美子
間瀬 和義	30教大体	愛知	R3. 4. 4	妻	間瀬 静子	鈴木 和之	53筑体	静岡	R3. 5.25	妻	鈴木 和代
都築 幸夫	30教大農	愛知	R4. 6.25	妻	都築喜代子						

（21頁から続く）

役員会には愛媛県関係4人の役員に加えて、ご意見をいただくために矢野常務理事と廣田理事にも参加していただきました。ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大により愛媛茗溪会総会が開催できなかったこともあり、このまま縮小・消滅していくのではないかと危惧していました。しかし、結論からすると、この茗溪文化講演会および愛媛茗溪会総会、懇親会は、とにかく毎年開催するということに尽きると思いました。今年度についても、講演会および総会は3年ぶりの開催となり、参加者が激減するかと思いましたが、実際は3年前より数名ですが増加していたこともその理由の一つです。今後参加者の増加はそれほど見込めないかもしれませんが、声掛けをしながら茗溪文化講演会および愛媛茗溪会総会、懇親会を毎年実施していきたいと思っています。

また、井口先生の座談会には、10名ほどの参加があり、井口先生の人柄の良さと興味関心度の高い社会共創・地域学の分野ということもあり、盛況に話をさせていただきました。

終わりに

愛媛茗溪会は、決して大きな組織ではありませんが、茗溪会および筑波大学の発展に、少しでもお力添えができれば幸いと存じます。

（文責：愛媛茗溪会庶務 山本隆祥）

日7体育専門学群卒）

筑波大学は今

ウクライナの学生が 永田学長を表敬訪問



本学では、ウクライナ侵攻を受けたウクライナの学生50名の受入れを予定しておりますが、9月9日、これまでに入學したウクライナ学生10名が、永田恭介学長を表敬訪問しました。表敬では、太田圭副学長（学生担当）、加藤光保副学長（教育担当）、ベントンキャンポライン副学長（国際担当）、白山利信教授（ウクライナ学生支援チーム長／人文社会系）及び関瑞穂学生部長が同席し、学生達と懇談しました。永田学長から、「日本とウクライナ両国の良好な関係性の構築に貢献していただきたい。本学には多くの国の留学生が在籍しているが、国籍に関わらず友情を育んでほしい」との挨拶がありました。その後、学生を代表して、本学に最初に到着したキリリユークアンドリーさん、「筑波大学の取組に

感謝しています。この機会を活かして視野を広げ、日本とウクライナ両国の架け橋になれるよう頑張りたい」と述べました。

本学は、今後も同国からの学生受入れを予定しており、引き続き、学びの継続を求める学生支援に取り組んでいきます。

受験生のための筑波大学説明会 （オープンキャンパス）を開催

8月6日、7日および11日に、受験生のための筑波大学説明会を開催しました。



今年度は、完全予約制にすることで来場者を制限し、十分な感染対策を講じた上で、3年ぶりに本学キャンパス（オンサイト）でのイベントを実施するとともに、ライブやオンデマンドでの配信も行いました。当日は、担当教員による各学群・学類の紹介や入学試験に係る説明と模擬授業の他、在校生による受験や学校生活等に関する個別相談、在校生と高校生による懇談会などが開催されました。3日間で約4,000名がキャンパスを訪れ、それぞれの説明に熱心に耳を

傾けていました。また、オンライン配信についても多くの視聴があり、盛況な大学説明会となりました。

キャンパスツアーを再開



アイソトープ環境動態研究センターで説明を聞く高校生

コロナ禍により中止していたキャンパスツアーを、7月から2年ぶりに再開しました。

今年度は、対象を高校に限定し、センター1カ所、中央図書館、石の広場および体育ギャラリーを見学します。

1ヶ月間で4件を実施し、お問い合わせも数多くいただいています。キャンパスアテンダントの学生による学内施設等の説明や学生生活に関する話もあり、参加した高校生たちは、写真や動画を満喫していました。

IHS機構長 柳沢正史教授が 「ブレイクスルー賞」を受賞

自然科学における国際的な学術賞「ブレイクスルー賞」が9月22日に発

表され、2023年生命科学部門の受賞者として、筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構（WPI-IHS）機構長の柳沢正史教授が選ばれました。

柳沢教授は、新規生理活性ペプチド「オレキシリン」を発見し、過眠症「ナルコレプシー」の病態を解明しました。さらにそれが過眠症と不眠症の治療薬に結び付いた実績が評価され、米スタンフォード大学のEmmanuel Mignot博士とともに今回の受賞となりました。ブレイクスルー賞は米ゲーグルの創業者らが2012年創設し、基礎物理学、生命科学、数学部門で毎年、受賞者を選定。生命科学部門は、難病治療などで功績の大きい研究者に贈られます。同部門で日本人の受賞は、ノーベル賞を受けた山中伸弥氏や大隅良典氏、米ラスカー医学賞を受けた森和俊氏に続いて4人目です。

創基150年筑波大学開学50周年記念 特設ウェブサイトを開設

来年2023年10月1日、本学が開学50周年、師範学校からの創基150年記念を迎えることを受け、特設ウェブサイトを開設いたしました。50周年記念に向け、「DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.」とともに拓く未来をスローガンに記念事業等の情報を発信して参ります。

創基150年筑波大学開学50周年記念特設ウェブサイト

<https://50th.projects.tsukuba.ac.jp/>

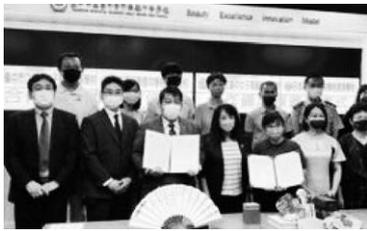
茗溪学園だより

台湾名門高校と姉妹校提携

この度、台湾の名門高校「台中市立台中女子高級中等学校」と「国立嘉義高級中学（嘉義市）」を宮崎淳校長、和田利一留学生センター長、赤木義和DX戦略室長が訪問し、それぞれの学校と姉妹校提携をし、その調印式が行われました。

両校の生徒達は、2019年までに複数回にわたって来校し、生徒同士の交流活動が行われてきていました。新型コロナウイルス感染症の影響で、互いに行き来することができなくなり、オンライン交流に止まっていたりましたが、渡航が可能となったことから台湾を訪問し、当初予定から4年近い歳月を経て、やっと姉妹校の調印となりました。

締結の内容としては、台中女子校とは、短期交流として、年間約40名の生徒を双方が互いに受け入れ、国際的視野を広げながら、サイエンス分野に特化した交流を深める。さらに、1年間の交換留学プログラムも行なわれます。



9月20日台中女子高級中等学校にて



9月22日嘉義高級中学校にて

また、国立嘉義校は、百年近い歴史があり国際化、理数分野に力を入れている台湾の伝統校かつ先進校で、双方の生徒の交換留学が行われます。これらの学校の他に、10月までに「シーナカリンパテュムアン校（タイ国・バンコク）」、「セントジョセフ校（シンガポール）」との姉妹校提携調印が行われます。

茗溪学園は世界の国々とのネットワークをさらに広げていきます。そして、世界の同世代の人たちとの交流が、本校生徒たちにとって素晴らしい経験となり、未来への大きな力となることを期待しています。

タイ王国教育副大臣一行来校

9月16日、日本訪問中のタイ国の教育副大臣、タイ公共政策財団理事長、タイ教育省基礎教育局の方々、チュラポーン王女サイエンスハイスクールの先生ら13名が、つくば市を訪れ、本校の様子を視察されました。

この訪問要請は突然のことだったので、十分な準備はできませんでしたが、生徒たちと共に歓迎セレモニーを催し、学校紹介、案内など、対応させていただきました。

会場のアゴラホール入場に際しては、室内学部生徒7名による弦楽演奏でお迎えしました。司会進行は担当教師と生徒とで行いましたが、タイからの帰国生の中学3年生はタイ語での進行役となりました。生徒の学校生活紹介は、代表生徒が英語で行いましたが、パワーポイントを利用して自分達の活動状況を説明しましたが、プレゼンする姿とその内容に訪問団の方々も感心して



歓迎演奏でセレモニーが始まった



教育副大臣(左端)の質問に答える本校生

いる様子が窺われました。校内案内では、理科の実験室での授業や廊下に掲示されている研究発表ポスターなどに関心を示されていました。タイから「高校生架け橋プロジェクト」で本校に留学在籍中の生徒も案内役で加わり、留学中の生活について会話がはずんでいました。短い時間でしたが、本校の雰囲気や活動状況を紹介する良い機会とできました。

日本植物学会で優秀賞受賞

第86回日本植物学会が京都府立大学を会場に開催され、高校生ポスター研

究発表に本校から参加した高校3年生が優秀賞を受賞しました。ポスター発表には、全国から応募のあった中から選ばれた56演題の出場があり、7名が受賞しました。本生徒の研究は、高校2年次に行った「個人課題研究」をさらに研究を深めて応募したもので、学会発表に向けてはプレゼンの練習も積んで臨みました。9月17日の発表の日は、緊張しましたが、限られた時間内にうまくまとめて発表することができた。さらに、研究を深めていきたい、ということでした。



研究テーマ：「バラのアレロケミカルに関する研究～除草剤の開発を目指して～」(京都府立大学にて)

部活動報告(試合結果など)

茨城県中体連総合成績：女子総合優勝、男子準優勝

インターハイ(8月四国開催)結果：バドミントン部(男女団体)、体操(男子個人)、水泳(女子個人)、テニス(男子団体)以上の部活が出場したが、いずれも予選敗退

栃木国体：剣道(少年女子)、バドミントン(少年女子)、ラグビー(女子7人制)で県代表選手として出場(10月開催)

◎**中学バドミントン部**：全国大会出場(8月青森県弘前市)男シングルス2回戦進出

◎**中学テニス部**：全国大会出場(8月群馬県高崎市)ベスト16

◎**中学ダンス部**：日本中学校ダンス部選手権全国決勝大会(2年連続4度目の出場、8月神奈川県民ホール)7位

◎**中学テニス部**：県新人大会・女子団体優勝、男子団体準優勝、関東新人大会出場(11月東京都小平市)



◎**中学ラグビー部**：第13回全国中学生ラグビー大会後期日程優勝(2回目)9月19日水戸市ケーズデンキスタジアムにて

予告

茗溪会主催 第36回教職研修会

対象：筑波大学生

(大学院生他を含む)

参加費：オンライン、対面共無料

内容：採用試験の演習、受験体験談、募集案内他

申込：茗溪会筑波事務所

(tsujimu@mekei.or.jp)

日程：オンライン(OL)は、

第3水曜日19時～21時

- 10・19(水)OL 教職受験一般
- 11・16(水)OL 教職一次試験
- 12・21(水)OL 個人面接
- 1・18(水)OL 集団面接・集団討論
- 2・17(金)、18(土)

大学会館他対面

小論文、個人面接等

- 4・19(水)OL 教員採用要領
- 5・17(水)OL 論文作文
- 6・14(水)OL 教員採用試験の実情
(シンポジウム)
- 7・29(土)、30(日)、
- 8・6(日)、11(金)

筑波大学・茗溪会館対面
二次試験演習

株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成26年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 **荒井 豊人**(昭和57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント
福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(5876)4338

所長 **福岡 一雄** (32教大法政)
社会保険労務士

JUWA 株式会社 **十和観光**
代表取締役社長 **井坂 信洋**

URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

株式会社 **岩手チキン工房**

— みんなに笑顔をお届けします。 —

代表取締役社長 **田中 修** (昭54筑農林)

〒028-3309 岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内85-1
TEL: 019(676)4121 FAX: 019(676)4464
<http://www.i-c-koubou.co.jp>

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」
TSUKUBA WAY プロジェクト
～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 **KTAJ**

代表取締役 **藤田 文武** (体育専門学郡
2004年卒)

FXC
Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者：代表取締役社長執行役員 **谷輪 重之**(93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 **ケエスアイ**

本社 〒557-0063
大阪市西成区南津守7-15-16

TEL 06-6652-8000 FAX 06-6652-8894

株式会社 **長谷工 コーポレーション**

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号
電話 03(3456)4501

取締役専務執行役員 **植岡 祥之**(昭57筑社工)

筑波大学教員、広島大学教員初のコラボレーション!

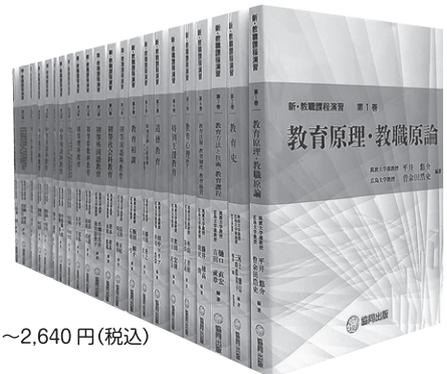
新・教職課程演習

全22巻

筑波大学人間系教授 **清水美恵** 監修
広島大学大学院教授 **小山正孝**

明治時代から我が国の教員養成をリードしてきた筑波大学教育学学位(大学院)プログラムと、広島大学大学院人間社会科学研究所(旧大学院教育学研究科)の専任教員が編者として初めて協力する画期的な演習シリーズ。我が国の教員養成の質向上を一段と図ります。

A5判・並製
定価：1,650円～2,640円(税込)



協同出版

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5
TEL.03-3295-1341 FAX.03-3233-0970 HP.<https://kyodo-s.jp>

「新・教職課程演習」全22巻

令和4年春の叙勲

おめでとうございます(追記敬称略)

瑞宝双光章

松本 光 36教大地

(北海道)

令和3年秋の叙勲

おめでとうございます(追記敬称略)

瑞宝小綬章

柴崎 光夫 47教大地

(千葉)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

訂正

前号(令和4年夏号)で誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

P10「令和3年度決算報告」正味財産増減計算表

(正) 令和3年4月1日～令和4年3月31日
(誤) 2021年4月1日～2021年3月31日

広報

「筑波大学新聞」10月号を同封します

春号に続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読み下さい。

●「茗溪会主催 教育人財セミナー」が以下の要領で開催されました。

セミナーと情報交換(オンライン)

日時:10月12日(水) 19時～

挨拶:阿江 通良氏(茗溪会副理事長)

話題提供1:

三田部 勇氏(筑波大学体育学系准教授)

「学校現場と筑波大生のようす」

話題提供2:

鈴木 美樹氏(茨城県立土浦第一高等学校教諭)

「授業・部活、そして教育への思い」

ひとこと 参加者全員

以上



表紙の言葉

本号の表紙の写真は、今年7月9日に開催された茗溪創基150年記念式典および第11回定時総会、祝賀会において、鈴木一弘氏(茗溪会広報委員)が撮られた写真の中から選びました。

この写真は、定時総会が終わり祝賀会までのひと時に、筑波大学混声合唱団のOB・OG会有志(コール・パウロニア)によって披露された「ひとつの時代」の楽譜を撮ったものです。

(事務局)

編集後記

前号(1113・夏号)の発行が、茗溪創基150年記念式典と定時総会の開催日(7月9日)の関係で、発行日が通常よりも一ヶ月遅く(8月15日)になりました。そのため本号(1114・秋号)の編集期間も含めたスケジュールで原稿執筆者や発行関係者の皆様にご協力いただくことになりました。感謝申し上げます。

次号(1115・正月号)は、従来通り来年の1月15日に発行予定です。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
- ・年会費のお振込みは、早めにお願いたします。

令和4年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二三

TEL 〇三二三九四一〇一三六

FAX 〇三二三九四一七六七四

E-mail info@meikei.or.jp

URL <http://www.meikei.or.jp>

郵便振替記号番号 〇〇一五〇一四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

E-mail tsujimu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社



Restaurant&Cafe

ランチ・カフェ・ディナー

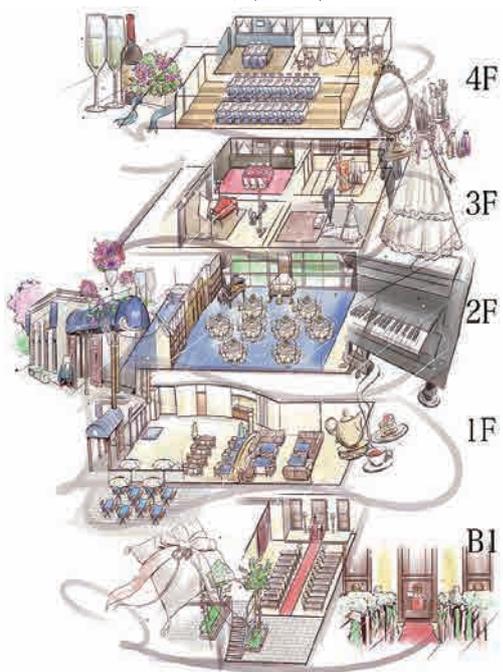
“嘉ノ雅” 茗溪館
KANOBi MEIKEIKAN
Wedding
結婚式・結納・フォト

Party&Meeting

宴会・同窓会・会議



嘉ノ雅 茗溪館 館内 MAP



4F コンベンションホール
個室

3F 貸衣装サロン
茗溪写真スタジオ

2F バンケット
イベントホール

1F カフェ・ホールテラス
フロント・クロック

B1 挙式会場

筑波大学生・卒業生・関係者の皆様だけに贈る

ご優待特典

ご婚礼 費用総額（税サ別）より5%OFF

お食事 ご飲食合計（税サ別）より10%OFF

お食事会・ご宴会・会議のご予約も承ります

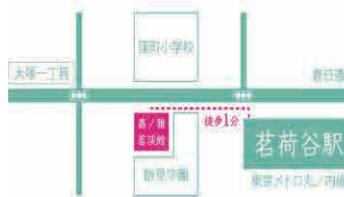
大ホール（2F茗溪） 最大100名様
小・中ホール（4F筑波・新泉） 28名～約4名様
個室（あけぼの・占春） 12名様～16名様

ご利用料金は、人数・利用部屋によって異なります。
音響設備・スクリーンの使用など、別途料金（¥10,000～）が発生いたします。
ご利用の場合は、ご予約・お支払時に在学証明書・名刺・茗溪会員証などの掲示をお願い致します。

※全て着席時の人数記載となります

お気軽にお問い合わせくださいませ

池袋駅から約5分・東京駅から約10分。
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩約1分。



“嘉ノ雅” 茗溪館

KANOBi

MEIKEIKAN

TEL: 03-5319-1890

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23
HP: <http://www.kanobi-meikeikan.com/>

問い合わせメールアドレス: info@kanobi-meikeikan.com
営業時間: 11:00～20:00 定休日: 不定休 ※要問合せ

▼HP▼ ▼LINE友達募集中▼



ID:@enc2843s

進化を続ける キューピッドの結婚。

「席に案内されて対面した瞬間、
“私この人と結婚するかも”。」

人間性と個性が伝わる20項目のメッセージから、
共通点や共感を見出して、プロがご提案した出会い。
最初から自然と「結婚」へ。

毎週届く、ご結婚カップルの声から
「進化を続けるキューピッドの結婚」を実感できます。

キューピッドクラブ 検索 

ご結婚カップルの言葉から「進化」をお確かめください。

キューピッドの
結婚



キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年設立。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽にご請求ください。

☎ 0120-0333-82



■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。

結婚を誠実に考える人の会員制クラブ



Cupid Club

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館10F 03-5843-1581 公式ホームページ www.cupid.co.jp

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金 (税サ込)

シングルB (バス・トイレ別)	¥4,100~¥ 6,000
シングルA (バス・トイレ付)	¥5,500~¥ 8,000
ツイン (バス・トイレ付)	¥9,800~¥12,800
朝食バイキング	¥1,200→¥ 880
大浴場時間	: 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
TEL 03 (3356) 4605
FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口	} より徒歩7分
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口	
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口	

JR新宿駅より車5分

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料
☆カード利用 OK!
☆貸切バス事業者より
安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301
FAX 029-864-4727
メールアドレス http://www.taxi.e-tsukuba.jp

フリーダイヤル 0120-000-302
各営業所に通じます

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆ 寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆ 国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です
- ◆ 多くの海外姉妹校があり、交流が盛んな学校です

公開シンポジウム 2022 開催

日 時 12月4日(日)

場 所 つくば国際会議場

詳しくはホームページをご覧ください。

2023 年度入試情報

募集要項、学園説明会などホームページまたは下記e-mailでお問い合わせください。



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)